

# 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会

平成30年7月5日(木)  
10:00～11:30  
富山河川国道事務所3階 大会議室

## < 議 事 次 第 >

1. 開 会
2. 富山県部会長 挨拶
3. 議 題
  - (1) 平成29年度北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（報告）
  - (2) 平成30年度の活動予定
    - － H30 工事現場見学先候補
    - － H30 新規取り組み等に関する相談窓口
    - － 担い手育成カレンダー
  - (3) 意見交換等
    - － 平成29年度北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会における主な議事
4. 閉 会

## < 配 布 資 料 >

- ・ 議事次第、配席図、出席者名簿、富山部会メンバーリスト (H30.7 現在)
- ・ 資料1 設立趣旨
- ・ 資料2 規約(案)
- ・ 資料3 平成29年度 富山県部会の概要
- ・ 資料4 平成29年度北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 (関係資料抜粋)
- ・ 資料5 平成30年度 活動予定 (富山県部会)
- ・ 資料6 平成29年度北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会  
における主な議事
- ・ その他配布資料

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会 2018/7/5 出席者名簿

所 属	役 職	氏名	出席
(一社)日本建設業連合会 北陸支部	総務副委員長	平井 秀樹	○
(一社)富山県建設業協会	常務理事	木嶋 弘	○
(一社)建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長	山本 信二	○
(一社)富山県測量設計業協会	副会長	金木 春男	○
富山大学 都市デザイン学部	副学部長	堀田 裕弘	○
富山県立大学 工学部環境・社会基盤工学科		手計 太一	○
富山工業高校	校長	松倉 泉	○
	土木工学科長	帰山 寛	○
桜井高校	校長	杉原 栄	×
	土木科学科長	稲垣 利治	○
高岡工芸高校	土木環境科主任	内山 純治	○
南砺福野高校	農業環境科主任	中藪 睦	○
富山労働局	職業安定課長	山崎 英治	○
北陸地方整備局 建政部	計画・建設産業課長	愛内 友治	×
○富山河川国道事務所	事務所長	福濱 方哉	○
富山県	土木部参事・建設技術企画課長	吉岡 浩二	○
富山県教育委員会	県立学校課長	本江 孝一	○
富山県地質調査業協会	会長	津嶋 春秋	○
(一社)日本道路建設業協会	北陸支部 幹事	林 和夫	○

(代理) 県立学校課  
主導主事 加藤 敏秀

○：部会長

オブザーバー

黒部河川事務所 事務所長 古本 一司  
 利賀ダム工事事務所 事務所長 山田 幸男  
 伏木富山港湾事務所 副所長 風間 悟  
 伏木富山港湾事務所 前任建設管理官 間野 豊晴

## 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

### 設立趣旨

北陸地方における建設界では、少子高齢化の進展や労働人口の減少に加え、近年の建設投資の大幅な減少による受注競争の激化等により、建設業者数や建設業就業者数も減少しており、とりわけ離職者の増加や若年入職者の減少等の厳しい状況に直面している。また、これらの状況については、これまで建設界の持つ魅力を建設界全体として発信することや建設界に対する好印象を醸成することが、うまくできてこなかったことも主因の一つと考えられる。

このような状況下においては、将来にわたる社会資本の整備・維持管理及びその品質確保や、冬期の除雪を含む災害時の対応等を通じた地域の維持等に支障が生じることが懸念されることから、地域における担い手の確保・育成は極めて重要な課題となっており、平成26年には、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」のいわゆる担い手三法が改正され、建設工事の担い手の育成と確保について、建設業者団体や国等の責務が明確化されたところである。

上記をふまえ、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的としたプラットフォームとして、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を設置する。

## 「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」規約

### （設置）

第1条 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

### （目的）

第2条 協議会は、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的とする。

### （構成員）

第3条 協議会の構成員は、別紙1のとおりとする。

### （座長）

第4条 協議会の座長は、北陸地方整備局長をもってあたる。

2 座長に事故があるときは、構成員のうちから座長が指名する者が、その職務を代理する。

### （会議）

第5条 協議会の会議は、座長が招集する。

2 構成員は、あらかじめ指名した者を代理として会議に出席させることができる。

3 座長が必要と認めるときは、構成員以外の者に対し、協議会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

### （部会）

第6条 地域における特定の課題等について検討を行うため、新潟、富山、石川の各県に部会を置く。

2 各部会は、別紙2に掲げる会員をもって構成する。

3 各部会の部会長は、別紙2のとおりとする。

4 部会長が必要と認めるときは、会員以外の者に対し、部会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

### （事務局）

第7条 会議および部会の庶務は、北陸地方整備局企画部及び建政部が関係機関の協力を得て処理する。

### （雑則）

第8条 この規約に定めるもののほか、会議の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

附 則 この規約は、平成26年10月3日から施行する。

附 則 この規約は、平成27年3月17日から施行する。

附 則 この規約は、平成28年3月24日から施行する。

附 則 この規約は、平成29年4月 1日から施行する。

附 則 この規約は、平成30年2月 1日から施行する。

附 則 この規約は、平成 年 月 日から施行する。

## 北陸建設会の担い手確保・育成推進協議会 構成員

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部長
2	(一社) 新潟県建設業協会	会長
3	(一社) 富山県建設業協会	会長
4	(一社) 石川県建設業協会	会長
5	(一社) 建設コンサルタンツ協会	北陸支部長
6	(一社) 新潟県測量設計業協会	会長
7	(一社) 富山県測量設計業協会	会長
8	(一社) 石川県測量設計業協会	会長
9	新潟大学 工学部 建設学科	
10	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻	
11	富山大学 工学部長	
12	富山県立大学 工学部 環境工学科	
13	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学類	
14	金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科	
15	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	
16	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	
17	新潟工業高校	校長
18	新発田南高校	校長
19	富山工業高校	校長
20	小松工業高校	校長
21	金沢市立工業高校	校長
22	新潟労働局	職業安定部長
23	富山労働局	職業安定部長
24	石川労働局	職業安定部長
25	◎北陸地方整備局	局長
26	北陸地方整備局	企画部長
27	北陸地方整備局	建政部長
28	○北陸地方整備局	環境調整官
29	信濃川河川事務所	事務所長
30	新潟国道事務所	事務所長
31	○富山河川国道事務所	事務所長
32	○金沢河川国道事務所	事務所長
33	北陸技術事務所	事務所長
34	新潟県	土木部長
35	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
36	新潟県教育委員会	義務教育課長
37	富山県	土木部長
38	富山県教育委員会	県立学校課長
39	石川県	土木部長
40	石川県教育委員会	教育次長 兼 学校指導課長
41	新潟市	土木部長
42	北陸地質調査業協会	理事長
43	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	支部長

◎ : 座長

○ : 部会長

## 富山県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 広報委員 総務副委員長
2	(一社) 富山県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 富山県測量設計業協会	副会長
5	富山大学 都市デザイン学部	学長補佐 副学部長
6	富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科	
7	富山工業高校	校長
8	富山工業高校	土木工学科長
9	桜井高校	校長
10	桜井高校	土木科学科長
11	高岡工芸高校	土木環境科主任
12	南砺福野高校	農業環境科長
13	富山労働局	職業対策課長 職業安定課長
14	建政部	計画・建設産業課長
15	○富山河川国道事務所	事務所長
16	富山県	土木部参事・建設技術企画課長 土木部建設技術企画課長
17	富山県教育委員会	県立学校課長
18	富山県地質調査業協会	会長
19	(一社) 日本道路建設業協会	北陸支部 幹事

○：部会長

平成29年度  
富山県部会の概要

平成30年 7月 5日  
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会  
富山県部会

# 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会 (H29.6.27) 開催概要

- 今年度第1回目となる**富山県部会を平成29年6月27日(火)に開催**。昨年度の協議会での議論をレビューし、本年度の体制・活動予定等について情報共有。
- 意見交換では、教育機関より**学生の就職希望の動向や学部新設に向けた協力依頼**、業界各機関より**ICT活用の情報発信や今後の活動に向けた提案**等があった。
- H29も引続き、**県内産学官の関係者の連携のもと活動を進めていくことで合意**。

## 開催概要

日時 平成29年6月27日(火) 15:30~17:00

会場 富山河川国道事務所 3F大会議室

構成機関(順不同)

【行政】北陸地整建政部/富山河川国道事務所、富山労働局、富山県土木部/教育委員会

【教育】富山大学、富山県立大学、富山工業高校、桜井高校、高岡工芸高校、南砺福野高校

【業界】日建連北陸支部、富山県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

【オブ】黒部河川事務所、立山砂防事務所、利賀ダム工事事務所、伏木富山港湾事務所

## 会員からの主な発言

- ・県内に待望の土木系学部ができる予定。富山県部会の各機関からの協力もいただきながら、産学官で連携した課題解決を図っていく。
- ・保護者への活動では、懇談会参加者から「建設業へのイメージが変わった」との声もあった。本年は活動内容を現場見学会などにも広げていく。
- ・協会内で実施した若手アンケートで「i-Construction」への関心の高さが伺えた。大学との連携し、イベント等でUAVや3D設計をPRしていく予定。
- ・女性は結婚により離職するケースがある。結婚後も続けられる魅力的な環境を作るためにも、ICT活用を進めていくべき。
- ・建設業への入職・定着促進の為の各種支援制度があるので活用いただきたい。

## 開催状況

部会長挨拶



意見交換状況



# 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会 (H29.12.26) 開催概要

- 平成29年12月26日に**第2回富山県部会を開催**し、各機関の**H29年度取組状況の報告**、**次年度**の**取組・連携協力体制について意見交換**を実施した。
- 就職を控えた生徒の多くが県内建設系企業への就職を希望しているなど、取組が評価できる面もある一方、生徒の進路に影響を与える**保護者への取組の充実**等の課題があがった。
- **担い手の県内定着に向け、県外からの学生へのアプローチの視点も重要**等の意見が出された。
- **引き続き、産学官の関係機関の連携のもと平成30年度も取組を進めていくことで合意**した。

## ➤ 開催概要

日時 平成29年12月26日 (火) 14:00~15:30

会場 富山河川国道事務所 3F大会議室

構成機関 (順不同)

【行政】 北陸地整建政部/富山河川国道事務所、富山労働局、富山県土木部/教育委員会

【教育】 富山大学、富山県立大学、富山工業高校、桜井高校、高岡工芸高校、南砺福野高校

【業界】 富山県建設業協会、建設IT化推進協議会北陸支部、富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

【オブ】 黒部河川事務所、立山砂防事務所、利賀ダム工事事務所、伏木富山港湾事務所

## ➤ 各機関からの主な発言

- ・ 情報系の学生に建設系の情報をうまく提供すれば学生も興味が湧く。情報系の先生方とマッチングをとるのが良いと考えている。
- ・ 県外からの学生に定着してもらうことが重要で、定着してもらうには、富山の土地・生活・仕事における魅力といった視点での取組が必要と思う。
- ・ 今年も、建設業への就職を希望している生徒が親御さんの意向により他業界へと進路変更をした事例がある。保護者への働きかけを考えることが重要。
- ・ 今年実施した保護者向け見学会は、次年度は参加人数を拡大していきたい。
- ・ 測量・設計業界としては、つくるモノがない中で現場見学会の開催が難しい面もあるが、最新の機器を体験してもらう等の取組を用意していきたい。

## ➤ 開催状況



# 富山県の建設分野の労働力需給状況等

平成30年 2月 1日

富 山 労 働 局

# 図表でみる 労働市場

29年11月



富山労働局

## ◎今月の特徴

・有効求人倍率(季節調整値)は1.80倍となり、前月を0.03ポイント下回りました。また、正社員の有効求人倍率は1.45倍となり、前年同月を0.22ポイント上回りました。新規求職申込件数は前年同月比で減少、有効求職者数も減少しました。新規求人数は前年同月比で増加、有効求人数も増加しました。

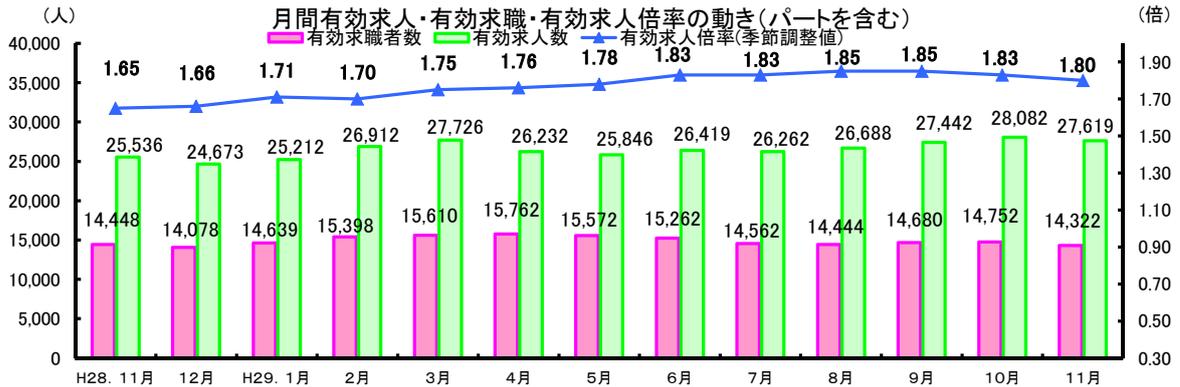
雇用情勢は着実に改善している。

・新規求人数は、前年同月比で6.5%増加し、7ヶ月連続、月間有効求人数は、8.2%増加し、21ヶ月連続となりました。

・新規求職申込件数は、前年同月比で0.9%減少し、2ヶ月ぶり、月間有効求職者数は、0.9%減少し、58ヶ月連続となりました。

\*全国の失業率は季節調整値。(資料出所:総務省統計局「労働力調査」)

年月	完全失業率		有効求人倍率(季節調整値)		正社員の有効求人倍率(原数値)		就職率		富山県の完全失業率(モデル推計値)	
	全国	富山県	全国	富山県	全国	富山県	富山県	全国	28年7~9月	29年7~9月
28年11月	3.1%	1.65倍	1.41倍	1.23倍	0.95倍	1.45倍	45.8%	36.6%	28年7~9月	2.1%
29年9月	2.8%	1.85倍	1.52倍	1.40倍	1.03倍	1.45倍	45.4%	34.9%	29年1~3月	2.1%
29年10月	2.8%	1.83倍	1.55倍	1.47倍	1.06倍	1.45倍	47.0%	35.6%	29年4~6月	2.6%
29年11月	2.7%	1.80倍	1.56倍	1.45倍	1.09倍	1.45倍	47.9%	36.4%	29年7~9月	1.9%



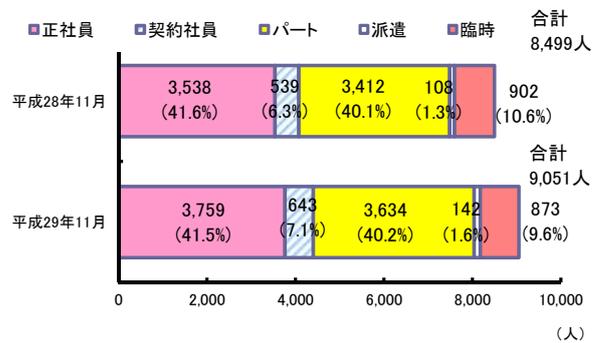
## 職業紹介業務統計

項目	安定所別	(パートを含む、求人倍率は原数値)							28年11月	前年同月比[%]
		富山	高岡	魚津	砺波	氷見	滑川	県計		
① 新規求職申込件数[件]		1,408	794	337	388	149	284	3,360	3,389	▲0.9
② 月間有効求職者数[人]		6,090	3,535	1,472	1,522	558	1,145	14,322	14,448	▲0.9
③ 新規求人数[人]		4,101	2,101	996	968	318	567	9,051	8,499	6.5
④ 月間有効求人数[人]		12,232	6,724	3,046	2,998	1,079	1,540	27,619	25,536	8.2
⑤ 紹介件数[件]		2,168	995	546	526	225	347	4,807	4,867	▲1.2
⑥ 就職件数[人]		642	385	172	207	79	124	1,609	1,552	3.7
就職率⑥/①×100[%]		45.6	48.5	51.0	53.4	53.0	43.7	47.9	45.8	2.1
求人倍率(原数値)	新規求人倍率③/①[倍]	2.91	2.65	2.96	2.49	2.13	2.00	2.69	2.51	0.18
	有効求人倍率④/②[倍]	2.01	1.90	2.07	1.97	1.93	1.34	1.93	1.77	0.16

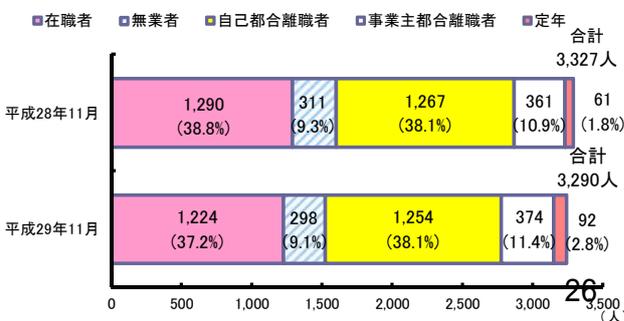
## 産業別新規求人状況(パートを含む) [単位:人]

産業分類	年月	29年11月	29年10月	28年11月	前年同月比[%]
合計		9,051	10,218	8,499	6.5
建設業		694	968	580	19.7
製造業		1,553	2,108	1,521	2.1
食料品		191	292	231	▲17.3
繊維工業		63	118	59	6.8
化学工業		95	133	106	▲10.4
プラスチック製品		84	154	133	▲36.8
金属製品		301	317	249	20.9
はん用・生産用・業務用機械器具		247	405	203	21.7
電気機械器具、電子部品・デバイス		197	155	201	▲2.0
運輸、郵便業、情報通信業		572	753	399	43.4
卸売・小売業、宿泊業・飲食サービス業		2,055	2,305	1,996	3.0
医療福祉、学術研究専門・技術、生活関連、サービス業		3,346	3,570	3,211	4.2
その他		831	514	792	4.9

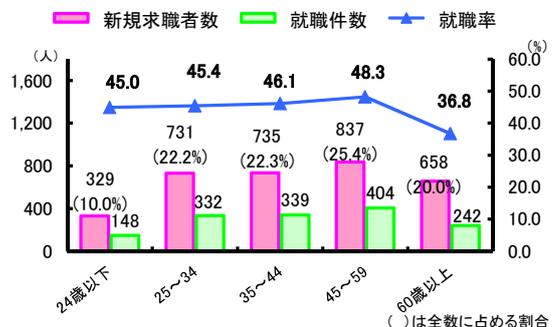
## 新規求人数の雇用形態別状況



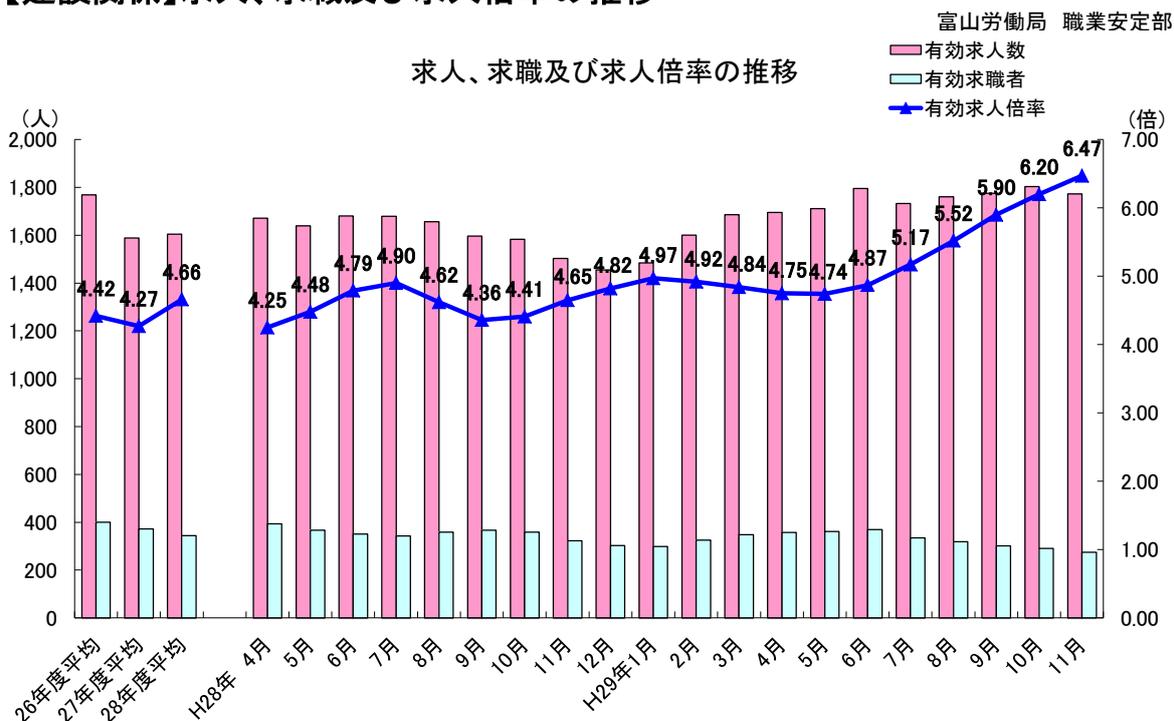
## 新規求職者(常用)の態様別状況



## 年齢階層別求職・就職状況



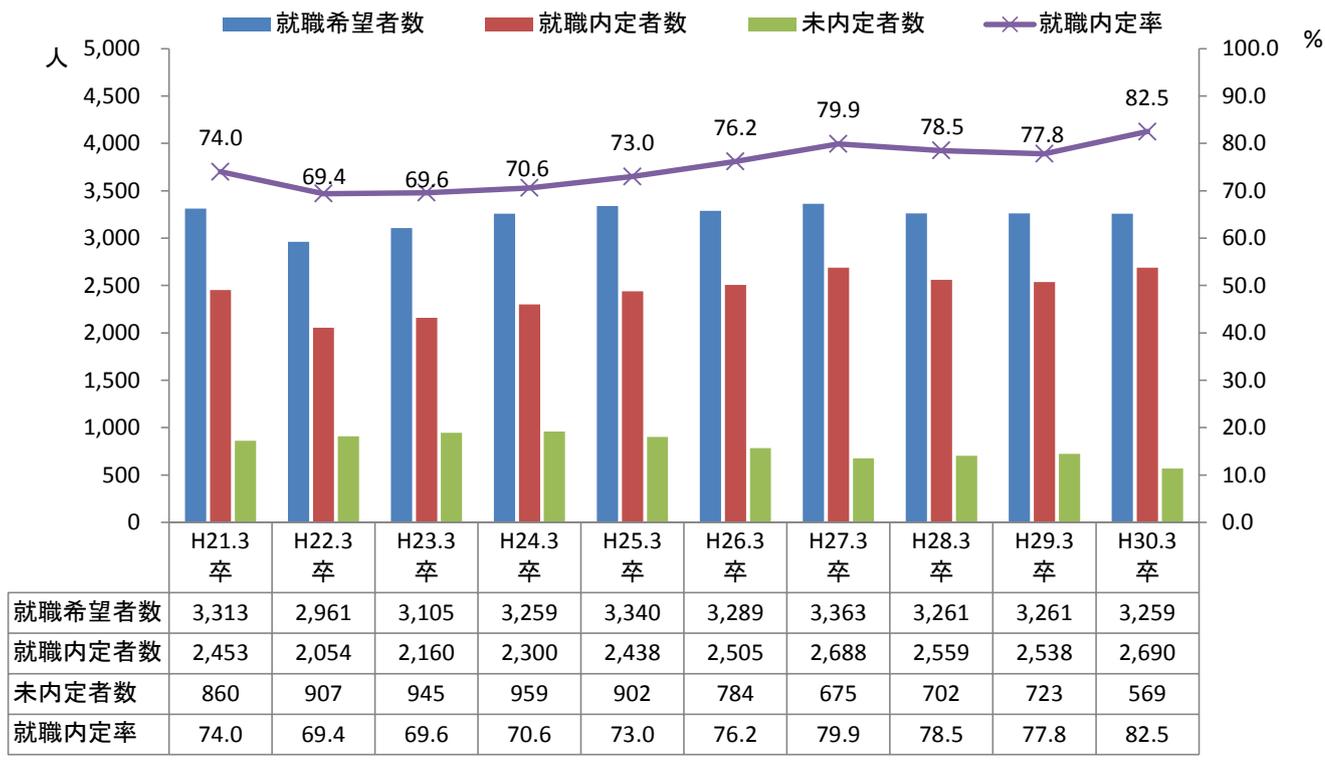
## 【建設関係】求人、求職及び求人倍率の推移



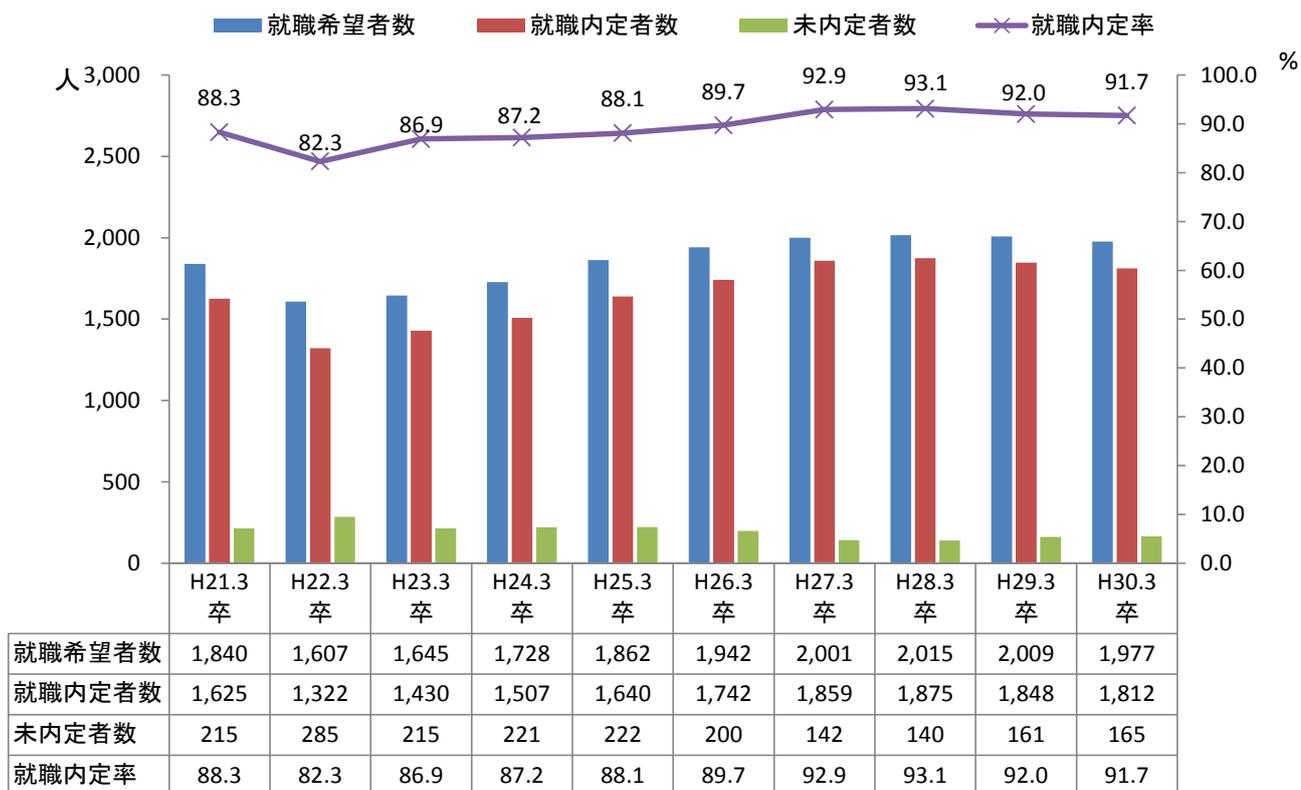
### 【常用】(パート含む)

建設関係	有効求職者数	有効求人数	有効求人倍率	就職件数
26年度平均	400	1,769	4.42	68
27年度平均	372	1,589	4.27	54
28年度平均	344	1,604	4.66	49
H28年 4月	393	1,672	4.25	70
5月	366	1,640	4.48	56
6月	351	1,681	4.79	36
7月	343	1,679	4.90	54
8月	359	1,657	4.62	49
9月	366	1,597	4.36	45
10月	359	1,583	4.41	56
11月	323	1,503	4.65	41
12月	302	1,455	4.82	29
H29年1月	299	1,485	4.97	40
2月	325	1,600	4.92	43
3月	348	1,686	4.84	59
4月	357	1,695	4.75	49
5月	361	1,711	4.74	46
6月	369	1,796	4.87	59
7月	335	1,733	5.17	51
8月	319	1,761	5.52	43
9月	301	1,776	5.90	62
10月	291	1,804	6.20	47
11月	274	1,773	6.47	36

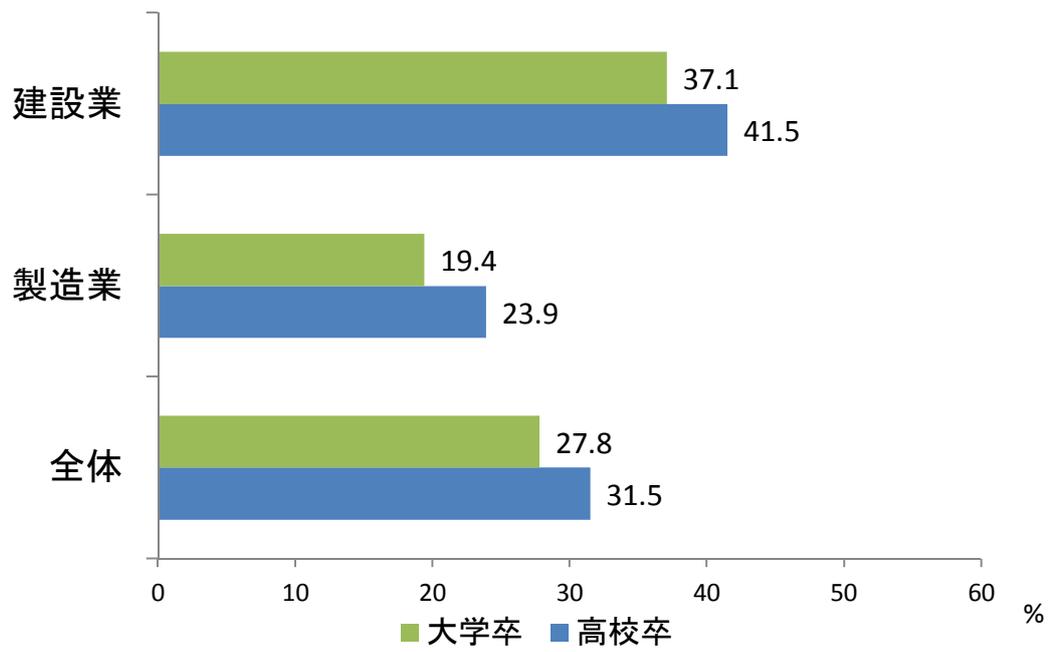
### 過去10年 大学等卒業予定者の内定状況(11月末日現在)



### 過去10年 新規高等学校卒業予定者の内定状況(11月末日現在)



### 平成26年3月新規学卒者・卒業3年後の離職状況



平成29年度 建設界の担い手確保・  
育成に関する取り組みについて

③平成29年度活動概要一覧表

**【富山県部会】**

平成30年 2月 1日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

# 平成29年度の活動一覧表 【建設系学生・生徒への取り組み】

## 資料2

平成29年12月現在

概要資料頁	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況 (機関、業団体等)	H29 新規 or 継続
1 ○	桜井高校	高校	現場見学	1年	40	10月31日	宇奈月ダム見学	黒部河川事務所	富山県建設業協会入善支部	継続
2	桜井高校	高校	講座	2年	未定	2月	講座(土木について) ※民間と公務員の仕事の違い等	黒部河川事務所	富山県建設業協会入善支部	継続
3 ○	富山国際大学	大学	講座	3年	4	6月1日	立山の砂防を学ぶ	立山砂防事務所		新規
4 ○	桜井高校	高校	現場体験	3年	5	8月1~3日	現場見学および現場体験(SABO体験乗校) ※2泊3日	立山砂防事務所	(一財)富山・水・文化の財団	継続
5 ○	富山工業高校	高校	現場体験	1年	3	8月1~3日	現場見学および現場体験(SABO体験乗校) ※2泊3日	立山砂防事務所	(一財)富山・水・文化の財団	継続
6 ○	高岡工芸高校	高校	現場見学	3年	29	5月24日	現場見学(砺波東バイパス工事)	富山河川国道事務所		継続
7	南砺福野高校	高校	現場見学	2・3年		6月12日	現場見学(R359砺波東バイパス事業の説明、施工内容、施工方法の理解を深める)	富山河川国道事務所		新規
8	桜井高校	高校	現場見学	2年	38	10月5日	現場見学会(R41猪谷輪原道路事業の説明、施工内容、施工方法の理解を深める)	富山河川国道事務所		継続
9	富山県立大学	大学	講座+現場	1年	60	6月30日 7月7日	6/30:講義(「社会基盤施設の整備(富山を例にして)」と題し、社会資本整備の目的や役割等について富山地域を事例として説明) 7/7:現場見学(ダム建設や工事用道路【橋梁上部工】について説明し、建設業を理	富山河川国道事務所 利賀ダム工事事務所		継続
10	南砺福野高校	高校	講座+現場	1・2年	40	7月13日	現場見学と講座(ダム建設や工事用道路【橋梁上部工】について説明し、建設業を理解させる)	利賀ダム工事事務所		継続
11	富山県立大学	大学	講座	2・4年	23	7月14日	北陸地方整備局の業務説明、社会基盤整備の流れ、伏木富山港の事業概要を説明	伏木富山港湾事務所		新規
12	富山県立大学	大学	現場見学	2・4年	22	7月21日	2年生主体の現場体験、新湊大橋(完成)の概要説明と岸壁改良工事の見学した。伏木富山港において、フェリーの大型化に対応するための岸壁改良工事(岸壁前面の増深、防眩材・係船柱のランクアップ)を実施している。	伏木富山港湾事務所		新規
13 ○	富山工業高校	高校	現場見学	1年	40	9月5日	増加するコンテナ貨物に対応するため、伏木富山港においてコンテナターミナルの延伸工事を実施しており、棧橋式岸壁整備の鋼管杭打設現場を見学	伏木富山港湾事務所	(一社)日本理立浚渫協会 北陸支部 富山県港湾建設協会	継続

# 平成29年度の活動一覧表 【建設系学生・生徒への取り組み】

## 資料2

平成29年12月現在

概要資料頁	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況 (機関、業団体等)	H29 新規 or 継続
14	○ 富山工業 高校	高校	講座	2年	40	12月15日	インフラの歴史と役割について	伏木富山港湾事務所	富山河川国道事務所	継続
15	○ 富山県立 大学	大学	現場 見学	博士 3・4年	21	7月26日 10月10日	現場見学会(本県の社会資本整備を見学し学術研究や本県への定着を図る)	富山県土木部		新規
16	○ 富山県立 大学	大学	その他			8月5日	富山県立大学「ダ・ヴィンチ祭」へ建設業ブース出展 ・VR(仮想現実)による工事体験、リモコン式ミニショベルの操作 ・ドローンの実演飛行、測量体験 ・ペーパーブリッジ作製 など	富山県土木部	(一社)富山県建設業協会 (一社)富山県測量設計業協会 (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	継続
17	○ 南砺福野 高校	高校	講座	1年+ 保護者	30	10月24日	講座(建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信) ※対象者:高校1年生とその保護者	富山県土木部	(一社)富山県建設業協会	継続
18	○ 高岡工芸 高校	高校	講座	1年+ 保護者	80	10月27日	講座(建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信) ※対象者:高校1年生とその保護者	富山県土木部	(一社)富山県建設業協会	継続
19	○ 桜井高校	高校	講座	1年+ 保護者	40	11月14日	講座(建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信) ※対象者:高校1年生とその保護者	富山県土木部	(一社)富山県建設業協会	継続
20	○ 富山工業 高校	高校	講座	1年+ 保護者	80	12月19日	講座(建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信) ※対象者:高校1年生とその保護者	富山県土木部	(一社)富山県建設業協会	継続
21	○ 富山大学 富山県立 大学	大学	現場	3・4年 教諭	19	10月10日	富山県主催の「ミル・シル・マフ」とやま土木・建築員学会」で県内大学の学生、生徒を対象としたもので、現場見学(ダム建設や工事用道路【橋梁上部工】)について説明し、建設業を理解させる)	富山県	利賀ダム工事事務所	新規
22	○ 桜井高校	高校	現場 見学	3年	40	6月2日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・浦山縦工その2工事 ・片貝川水系日尾谷砂防2号堰堤工事 ・一般国道越前川角津線フレックスタイプ工事 ・主要地方道宇奈月大沢野線道路改良工事	(一社)富山県建設業協会	黒部河川事務所 富山県土木部 新川土木センター	継続
23	○ 富山工業 高校	高校	現場 見学	3年	37	9月22日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・一般国道41号富山高山連絡道路 猪谷輪原道路 ・神通川水系水上谷砂防総合交付金(砂防)堰堤工事 ・富山駅付近連続立体交差事業	(一社)富山県建設業協会	富山河川国道事務所 富山県土木部 富山土木センター 富山土木センター、JR西日本	継続
24	○ 高岡工芸 高校	高校	現場 見学	2年	28	9月29日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・主要地方道高岡環状線道路改築橋梁下部工 ・高岡やふなみ駅周辺整備 ・国道8号小矢部地区交通安全対策事業	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部 高岡土木センター 高岡市都市創造部 あいの風とやま鉄道 富山河川国道事務所	継続
25	○ 南砺福野 高校	高校	現場 見学	1・3年	30 2	10月19日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・市道館市野沢線東広橋上部工事 ・国道304号(高宮/ハノイ)道路改良工事 ・大鍾屋大谷砂防流路工事 ・庄川・上伏間江護岸工事	(一社)富山県建設業協会	南砺市 砺波土木センター 富山河川国道事務所	継続

# 平成29年度の活動一覧表 【建設系学生・生徒への取り組み】

## 資料2

平成29年12月現在

概要資料頁	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況 (機関、業団体等)	H29 新規 or 継続
26	富山工業高校	高校	現場見学	2年	37	11月1日	建築工事の施工方法、目的の理解 ・富山・桜町1丁目市街地再開発事業 ・速星中学校大規模改造及び校舎増築主体工事 ・富山県立大学看護学部施設整備工事	(一社)富山県建設業協会	富山市営繕課 富山県土木部営繕課	継続
27	高岡工業高校	高校	現場見学	2年	40	11月7日	建築工事の施工方法、目的の理解 ・勝興寺保存修復工事 ・富山県薬事研究所 未来創薬開発支援分析センター新築 ・富山・桜町1丁目市街地再開発事業	(一社)富山県建設業協会	(公財)勝興寺文化財保存・活用事業団 富山県土木部営繕課	継続
28	富山工業高校	高校	その他	1・2年の保護者	18	10月21日	保護者との懇話会 ・建設業協会制作DVD「創る力」の視聴 ・建設業の現状について ・とやまの土木について ・富山の建設業に就職して	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部	継続
29	高岡工業高校	高校	その他	1・2年の保護者	25	10月21日	保護者との懇話会 ・建設業協会制作DVD「創る力」の視聴 ・建設業の現状について ・とやまの土木について ・富山の建設業に就職して	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部	継続
30	富山県立大学	大学	その他	2・3年、院生	-	5月10日	建設コンサルタントPR冊子の配布 上記を利用した建設コンサルタント業務の説明会	建設コンサルタント協会 北陸支部		継続
31	富山県立大学	大学	その他	全学年	-	6月29日	北陸支部会誌「雪の音」、北陸支部「会員名簿」を設置済みマガジックに掲示を依頼	建設コンサルタント協会 北陸支部		継続
32	富山県立大学	大学	その他	全学年	-	7月19日	北陸支部主催の「業務・研究発表会」聴講案内をメール配信	建設コンサルタント協会 北陸支部		継続
33	富山大学	大学	その他	全学年	-	8月4～5日	富山大学園祭に建設コンサルタント協会の紹介(建設コンサルタントとは？建設コンサルタントが担う役割等) ※都市デザイン学部新設(H30.4予定)へ向けた取り組みについて大学より依頼あり	建設コンサルタント協会 北陸支部		新規
34	富山県立大学	大学	その他	全学年	-	8月5日	富山県立大学ダヴィンチ祭(学園祭)に、学生・親子で触れ合う土木教室を開催(ペーパークラフトによるアーチ橋製作) 併せて建設コンサルタント協会の紹介(建設コンサルタントとは？建設コンサルタントが担う役割等)	建設コンサルタント協会 北陸支部		新規
35	富山県立大学	大学	その他	全学年	-	10月21日	北陸支部会誌「雪の音」を設置済みマガジックに掲示を依頼	建設コンサルタント協会 北陸支部		継続
36	富山県立大学	大学	現場見学	院生、4年	2	10月25日	鹿兒島県桜島火山砂防災害対策の見学により防災対策の重要性を確認	富山県地質調査業協会		継続
参考	石川工業高等専門学校	高専	講座+現場	3年	44	10月2日	現場見学と講座(ダム建設や工事用道路【橋梁上部工】)について説明し、建設業を理解させる)	利賀ダム工事事務所		継続
参考	金沢工業大学	大学	講座+現場	1年	46	10月16日	現場見学と講座(ダム建設や工事用道路【橋梁上部工】)について説明し、建設業を理解させる)	北陸地方整備局企画部	金沢川河川国道事務所 富山河川河川国道事務所 利賀ダム工事事務所	継続

# 平成29年度の活動一覧表 【中学・小学校(保護者や教員等含む)等への取り組み】

概要資料頁	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況 (機関、業団体等)	H29 新規 or 継続
1 ○	立山中央小学校	小学校	講座	6年	83	6月23日	砂防についての出前講座(講義)	立山砂防事務所	斜面防災対策技術協会富山支部	継続
2 ○	新庄北小学校	小学校	支援学習	6年	103	9月22日	立山砂防についての総合学習支援(僕らさぼう探検隊)	立山砂防事務所	富山法人会青年部	継続
3 ○	立山中央小学校	小学校	講座	6年	83	9月27日	土砂災害についての出前講座(講義)	立山砂防事務所	斜面防災対策技術協会富山支部	継続
4 ○	利田小学校	小学校	学習支援	6年	39	10月10日	立山砂防についての総合学習支援(僕らさぼう探検隊)	立山砂防事務所	富山県立土木事務所	継続
5 ○	新庄北小学校	小学校	講座	4年	103	11月14日	常願寺川について	立山砂防事務所		新規
6 ○	楡原中学校	中学	現場見学	1~3年	29	9月13日	現場見学会(R41)猪谷楡原道路事業の説明。社会資本整備の重要性、建設業の魅力を理解してもらう。	富山河川国道事務所		新規
7 ○	複数の小中学校	親子	現場見学	-	26	8月23日	子供たちにダム事業や建設業に関心を持ってもらおうと、利賀ダムや利賀村での県工事の受発注者の親子を対象に、現場見学を実施し、自分の現場を親自ら説明や重機の体験試乗などを行った。	利賀ダム工事事務所	利賀村建設業協会	新規
8 ○	利賀小学校 利賀中学校	小中学校	現場見学	-	17	10月15日	ダム事業や建設業の関心や理解を深めることを目的に、工事用道路のウォーキング、紙飛行機飛ばし、巨大ジグソーパズル、ダムカレー品評会を実施。	利賀地域児童生徒育成会	利賀ダム工事事務所	継続
9 ○	市内対象小学校	小学校	現場見学	5年	300	6~7月	現場見学と港の役割について (6/28 釜山小:9人、6/29 小形小:92人、6/30 東明小:58人、7/10 塚原小35人、7/13 歌の森小:72人、7/19 作道小:34人)	伏木富山港湾事務所	射水市港湾・観光課 富山県富山新港管理局	継続
10 ○	市内対象小学校	小学校	現場見学	5年	161	7月	現場見学と港の役割について (7/6 牧野小:80人、7/7 太田小:8人、7/11 伏木小36人、古府小37人)	伏木富山港湾事務所	高岡市みなと振興課	継続
11 ○	岩瀬小学校	小学校	現場見学	5年	18	9月8日	現場見学と港の役割について (9/8 岩瀬小:18人)	伏木富山港湾事務所		継続
12 ○	県政バス	小中学校	講座+現場	小学生18歳以下	30	8月1日	橋をテーマに、紙で橋を作る「ペーパーブリッジ教室」や実際の橋を見学	富山県土木部		継続

平成29年12月現在

# 平成29年度の活動一覧表 【中学・小学校(保護者や教員等含む)等への取り組み】

平成29年12月現在

概要資料頁	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況 (機関、業団体等)	H29 新規 or 継続
13 ○	一般参加	親子	その他	-	298	8月5日	富山県立大学 ダヴィンチ祭への出展 ・ラジコン重機(バックホウ)操作体験 ・ドローンによるデモ飛行 ・トータルステーションによる測量体験 ・建設機械ペーパークラフト、塗り絵作成 ・パネル展示	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部建設技術企画課	継続
14 ○	高校生の保護者を対象	保護者	現場見学	1・2年の保護者	9	10月12日	高校1・2年生の保護者を対象にお子さんの進路選択の参考 ・一般国道41号、富山高山連絡道路、猪谷楡原道路 ・富山県立大学看護学部施設整備工事 ・富山県美術館(施設見学)	(一社)富山県建設業協会	富山河川国道事務所 富山県土木部営繕課	継続
15	教育委員会等	小・中学校	その他	高学年	-	6月	・平成16年から「社会貢献活動」の一環として出前講座を実施しており、北陸支管内の小中学校、中学校にチラシ等を配布し、学校からの依頼に基づいた内容の出前講座を実施する旨依頼	建設コンサルタツ協会の北陸支部		継続
16	長岡小学校	小学校	講座	5,6年	48	6月7日	測量の日の関連行事として、「地図教室」、「測量実習」を開催し、地図記号の意味や、測量機器に触れることにより、測量に理解と関心を持ってもらう	(一社)富山県測量設計業協会	国土地理院北陸地方測量部	継続
17	一般参加	親子	その他	-		8月5日	富山県立大学 ダヴィンチ祭への出展 ・ドローン飛行、GPS、トータルステーション ・MMSとパネルの展示	(一社)富山県測量設計業協会	富山県土木部建設技術企画課	新規
18 ○	立山中央小学校	小学校	現場見学	6年	85	9月1日	斜面防災の大切さに関する教育向上を目的とした体験学習会を実施	富山県地質調査業協会	立山砂防事務所、富山県	継続

平成29年度 建設界の担い手確保・  
育成に関する取り組みについて

【富山県部会】

平成30年 2月 1日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会



- 実施日時：平成29年10月31日（火） 13:45～14:45
- 場 所：宇奈月ダム
- 対 象：富山県立桜井高等学校 土木科1年生40名
- 主 催：黒部河川事務所
- 共 催：富山県建設業協会 入善支部

- 内 容：
  - ・国土交通省の組織、黒部河川事務所の事業全般
  - ・堤体内監査廊（プレキャスト工法）見学
  - ・排砂設備のゲートやライニング材の工夫の見学
  - ・排砂路操作室の見学 等



ダム堤体内監査廊見学



恒例のダムカード贈呈

案内の最後に桜井高校の土木科のクラス会長より、『**排砂路に固い石（段戸石）で補強されているなど、私たちの生活を守るために様々な工夫がされていることに驚きました。**』と土木技術への感想とお礼がありました。

案内を行ったダム課長からは、宇奈月ダムを見学した記念として、恒例のダムカードをプレゼントし、見学会を終えました。

参加した学生からの感想（感想文より抜粋）

- **排砂ゲートを間近で見たことが印象**に残りました。なぜかという、自分が説明を聞いた中でとても興味をひく内容だったからです。
- **実際、排砂する場面をみてみたい**です。
- 僕は、ダムを見に行くことが初めてでした。テレビなどでダムを見たときも**迫力がすごい**と思っていましたが、**実際に現場に行ってみると比べものにならないくらいに迫力がすごかった**です。
- 宇奈月ダムの監査廊は国内で初めての作りかただったことを初めて知ったし、**安全性などにも配慮してつくっていた**ので、僕も実習のときに安全で素早く行いたいと思いました。
- ダムの特徴は、監査廊やゲート操作室等の**プレキャスト化により、施工期間の短縮とコスト縮減**を図ったことで、**迅速で安全な施工**だったことを知りました。



操作室見学



平成29年11月1日(水)  
北日本新聞(日刊)

桜井高校生の現場視察（主催：一般社団法人富山県建設業協会）



- （一社）富山県建設業協会では、雇用改善推進事業の一環として、高校生に社会資本整備の必要性を認識していただき若手の人材確保に繋げることを目的に、「高校生の建設現場見学会」を平成3年度から毎年実施。
- 6月2日（金）に黒部河川事務所で開催している河川工事の現場「**平成28年度浦山縦工その2工事**」の縦工ブロック製作現場を視察。
- 視察では、縦工用の異形ブロック（パラクロス12t）のコンクリート打設状況や実際に**バイブレータによる締固め作業を体験**しました。

【視察概要】

実施日：平成29年6月2日（金）  
視察者：桜井高校土木科（3年生）45名他  
視察現場：平成28年度浦山縦工その2工事（共和土木（株））

-今回の視察を終えての感想-

- バイブレータの締固めも以外と問題無くできました。
- 学校で実習しているコンクリート打設よりも**規模が大きく、いい経験**ができました。



バイブレータ(φ60mm)による締固め状況



コンクリート打設状況視察



立山砂防事務所では、立山での砂防事業を学生に学んでもらう事を目的として、富山国際大学との連携講義を開催しました。

第1弾として、立山砂防の歴史や事業の概要について大坂事務所長が講義を行い、安政5年の飛越地震による大鷲・小鷲山の崩壊と2度にわたる大土石流の被害や常寺川の特徴、立山砂防事務所の設立と白岩砂防堰堤や泥谷砂防堰堤群・本宮砂防堰堤の建設、砂防工事専用軌道（通称：トロッコ）について学びました。

開催日：平成29年6月1日（木）  
時間：13:30～15:30  
場所：立山砂防事務所 第2会議室  
参加者：学生4名  
尾畑学部長



泥谷第1号砂防堰堤にある「護天涯」の碑



大坂事務所長による講義の様子



講義を受ける学生



尾畑学部長を交えての質問タイム

講義後に尾畑学部長（立山砂防女性サロンの会長）を交えて行われた質問タイムでは

- ・トロッコの橋は、全て撤去するのか
- ・本宮砂防堰堤に溜まった土砂は撤去するのか
- ・立山は火山なのか
- ・今後、大鷲や小鷲は崩れる可能性はあるのかなどの質問がありました。

また、学生の出身地（京都、長崎、鹿児島、富山）の違いによる土砂災害の形態の相違について、活発な意見が出されました。

今後、富山国際大学との連携講義では

第2弾：6月 8日（木）トロッコ乗車、立山カルデラ博物館見学

第3弾：6月22日（木）本宮砂防堰堤視察、立山カルデラ現地視察が予定されています。



富山平野を守る立山の砂防事業について楽しみながら学んでいただくことを目的として、富山県内の高校生を対象にした「SABO体験楽校」を毎年開催しています。今年の「SABO体験楽校」では、8名の高校生が工事現場での実体験や砂防事業に携わる人々との交流を通じて、学校の授業では得られない貴重な体験をしました。

開催日：平成29年8月1日（火）～3日（木）【2泊3日】  
場所：立山砂防事務所管内  
参加校：富山県立桜井高等学校 5名  
富山県立富山工業高等学校 3名 計8名  
主催：立山砂防事務所  
一般財団法人 富山・水・文化の財団



立山カルデラ砂防博物館見学



ドローン操縦体験



天涯の湯清掃



遠隔操作機械操縦体験



協力：松嶋建設（株）



協力：（株）岡部



第21回 SABO体験楽校  
2017年 8月1日～3日  
富山県立桜井高等学校 富山県立富山工業高等学校 一般財団法人 富山・水・文化の財団



コンクリート打設体験



山腹エロープ作業体験



水谷出張所にて



情報化施工体験



開校式

開校式の様子

主催者挨拶



閉校式

代表者挨拶

修了証書授与

参加された生徒さんの感想（感想文より）

- ここで学んだ知識をこれからの学習や進路に生かしていきたい
- この体験を終えて、より一層公務員になりたい気持ちが強くなりました
- 実際に現場で働く人を見て、自分の将来について深く考える事ができました
- この体験を通して、自分の将来の選択の機会にしたい
- 常陸川を見た時、上流で色々な方々が働いていることを思い出したい
- 自分も将来はこのようにならなうように仕事がんばりたい
- 3日間で学んだ事を忘れずに将来に生かしていきたい
- これから進路を選ぶ時の考えの1つにしたい

参加いただいた生徒の皆さん、3日間お疲れさまでした。将来、建設に携わる職業に就いていただける事を期待しています！

# 「立山中央小学校」で出前講座！



暴れ川として有名な常願寺川の特徴や砂防堰堤の役割等々、立山砂防の事業に興味を持ってもらうことを目的として、出前講座を実施しました。

小学生ならではの鋭い感性で質問があり、興味津々な児童がとても頼もしく見えました。

開催日：平成29年6月23日(金)  
場所：立山町立立山中央小学校  
参加者：6年生(83名)・教員(6名)



6年1組



6年2組



6年3組



パネル展示にも興味津々

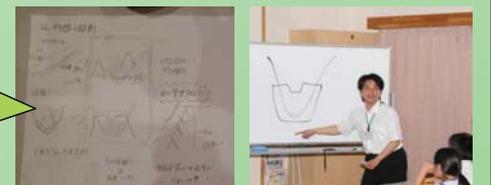


メモをとる児童達



質問のあるひと〜!

素晴らしいメモ!



### 【児童からの質問】

- 砂防堰堤を1基造るのに、どれくらいお金がかかるの？
  - 立山カルデラ内に砂防堰堤はいくつあるの？
  - 立山砂防では何人の人が働いているの？
  - 立山カルデラの面積は？
- ...etc

今回の出前講座は、昨年度に引き続き「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援しました(昨年度は、富山市立大庄小学校)。また、来る9月1日(金)には当事務所管内の現場を見学、9月27日(水)には土砂災害の模型等による講座も支援する予定です。

# Vol. 25 H29.9.22 『僕ら「さぼう」探検隊!』を開催 砂防堰堤は凄い! ~富山市立新庄北小学校~



立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼう」探検隊!』と称し、「総合的な学習」の支援として体験学習会を開催しています。

開催日 平成29年9月22日(金)13:00~14:30  
場所 立山砂防事務所構内  
参加者 富山市立新庄北小学校  
6年生:103名 引率者:16名 【計119名】  
※今回は、富山法人会青年部会が行う「租税教育バス」の一環として開催されました。



クイズに挑戦!



ジオラマで常願寺川を勉強



砂防堰堤の役割が分かったかな?

土石流って怖い!!

砂防堰堤ってすごいんだ!



今日とても勉強になりました! ありがとうございます!

児童からお礼の言葉を頂きました!



立山砂防の歴史を学ぶ



みんなで砂防を勉強中



土砂災害とは?

- 土石流
  - 地すべり
  - がけ崩れ
- です。

みんな覚えたかな?

土砂災害にも種類があるよ 知っているかな?



土石流模型実験



土砂災害ミニ模型



新庄北小学校のみなさん

ありがとうございました!



今年の6月に続いて、6年生に向けた出前講座を実施しました。今回は、より理解を深めるため土砂災害に関する実験を行いました。児童達は、実際に土砂災害の模型や実験を体験し、いろいろな感想を聞かせてくれました。

開催日：平成29年9月27日（水）  
 場所：立山町立立山小学校  
 参加者：6年生（83名）  
 教員（3名）



砂防堰堤を設置！



水を流すよー！

屋外での実験



土石流模型実験



傾きを急にしたらどうなるんだろう??



パネルで勉強しよう！



地すべり模型実験



土砂災害についておさらいしてみよう



今日はとても勉強になりました！



がけ崩れ模型実験

【児童の感想】  
 ■土石流の実験や土砂災害のミニ模型を実際に体験して、とても勉強になりました。  
 ■土砂災害について、とても勉強になりました。  
 ■砂防堰堤は土石流を止めるために必要だと思いました。  
 ■等々沢山の感想を頂きました。

第一回目の出前講座は、6月23日に開催しました。VOL. 13で紹介していますので是非ご覧になって下さい。

今回の出前講座は、「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援した出前講座です。



今年度第2弾！

立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼう」探検隊！』と称し、「総合的な学習」を支援しています。

開催日 平成29年10月10日（火）11:00～14:30  
 場所 立山砂防事務所構内  
 参加者 立山町立利田小学校  
 6年生:39名 引率者:4名 【計43名】  
 ※今回は、富山県立山土木事務所が行う「こども砂防教室」の一環として開催されました。



いってきまーす！



今日はありがとうございました！



トロッコに乗車！



砂防堰堤の役割が分かったかな？

砂防堰堤ってすごいんだ！



土石流って怖い！！



トロッコ体験乗車と砂防堰堤見学



土石流模型実験



土石流体感3Dシアター

新庄北小学校からの依頼を受け、小学4年生に向けて出前講座を実施しました。出前講座では、常願寺川の特徴や土砂災害について、映像や土石流模型等を交えて分かりやすく説明しました。新庄北小学校では、常願寺川に関する教育がとても盛んで、児童からは小学4年生とは思えないほどの鋭い質問や感想をたくさんいただきました。

開催日：平成29年11月14日（水）  
 場所：富山市立新庄北小学校  
 参加者：4年生（104名）1組～3組  
 教員（3名）

教室には常願寺川に関するポスターが  
 たくさん貼られていました！！



【児童からの質問・感想】

- もろくなった堰堤を造り替える時は、また同じように造るのですか？
- 山腹工で種を植えるところへはどうやって行くのですか？
- 砂防堰堤を1基造るのにどのくらいの時間がかかりますか？
- 今でも土砂災害は起こっているから安心してはいけなと感じた。等々



【今回講師を務めた北川企画係長の一言】

小学校4年生の児童達が、立山カルデラや安政5年の大災害、さらにはヨハネス・デ・レイケは勿論、森山茂さんや高田雪太郎さん、そして初代事務所長の赤木正雄さん等々を含め、常願寺川の治水事業について、沢山の事を既に学んでいる事に感動しました。



担い手確保に向けた取り組み ①

- 富山県内高校の土木科等の建設系を学ぶ生徒を中心に実施した現場見学会等では、最新の測量機器やICT技術を活用した建設機械による施工を体験し、建設現場の魅力について理解を深めていただいた。
- また、型枠組立・解体等の専門技術を実体験し、実務の「面白さ」も経験していただいた。



電子黒板の説明



TS測定の体験実習



全員で記念撮影



型枠組立・解体の体験実習



ICT活用技術の説明(MCバックホー)

●今年度は、建設系学生・生徒を対象とする取組以外に、中学生や保護者(中学・高校生)の見学会を開催し、進学先を検討する際の参考としてもらう取り組みも実施。

### 【H29実績】

- ①県内建設系学科のある全高校
  - ②地元(楡原)中学校(全校生対象)
  - ③中学・高校生の保護者
  - ④大学生等(近県含む)
- ※①の一部と③は富山県建設業協会主催  
③は富山県地域創生人材育成事業の一環として富山県建設業協会に委託

現場に技術者と実際に作業する専門工事の人がいることが分かりました。  
自分の子供はどちらに向いているかしら・・・。



地元中学生への事業説明



中学・高校生の保護者説明会



## 南砺福野高校生が庄川の河川工事を見学



国土交通省北陸地方整備局  
富山河川国道事務所

- 平成29年10月19日(木) 午後、富山県立南砺福野高等学校の生徒が「庄川・上伏間江護岸その2工事」の現場を見学を訪れた。
- 見学会では、工事の目的や最新の土木建設機械を使用した工事施工の紹介(ICT土工)と、最新測量機器(ドローン、TS)を使用した測量体験を行ってもらい、社会資本整備の重要性や建設業の魅力などについて理解を深めてもらった。
- 参加した生徒からは、建設業に対する印象が良くなった、建設業への興味が深まった、社会に貢献する仕事であり魅力を感じたなどの感想が寄せられた。

### 見学概要

- ・日 時:平成29年10月19日(木) 13:30~15:00
- ・対 象:富山県立南砺福野高校 農業環境課 1・3年生(1年:30名、3年:3名)
- ・見学場所:庄川・上伏間江護岸その2工事(高岡市上伏間江地先)※施工者:梅本建設工業(株)
- ・主 催:一般社団法人 富山県建設業協会(協賛:富山河川国道事務所)
- ・ポイント:①最新の土木建設機械を使用した工事施工(ICT土工)の紹介  
②最新測量機器(ドローン、トータルステーション)を使用した測量体験
- ・その他:現場担当技術者から入職理由や日頃の経験談などを交えて生徒へエール



ICT土工の説明を受ける様子



ドローンを使用した測量の説明と操作の様子



TS測量の説明と体験の様子



## ◆提出された感想文から(抜粋)



- 建設の3Kは、周りから見たもので、実際は3Kをなくすために、たくさんの努力をしていると聞き、すごく安心しました。
- 現場の雰囲気を見たときに、みんなコミュニケーションをとっており、また女性の方がおられ、すごく雰囲気が良く嬉しく感じました。



- 今までのイメージが少し変わり、きつくて大変と思っていましたが、安全で機械などを使うので仕事が楽になっていることがわかりました。
- 何年間もかけて少しずつこつこつやるのは大変と思いましたが、完成後の達成感と感動が楽しみなって頑張れるのかなと思いました。



- 建設の仕事の内容を全く知りませんでした。(中略) 建設業の魅力にひかれました。建設業は自分がつくったものが地図に残るもので世界で一つのものづくりをするということです。いつまでも地図に刻まれて未来に残っていくこと、それが他の仕事になく建設業にしかないやりがいだと思います。



- 正直、外は寒いし、暑い嫌な仕事と思っていました。女性にとってはきつい仕事と思っていたけど、女性でもできる仕事と聞いて、かっこいいなと思いました。
- 私も、この住んでいる地域を守りたいし、すばらしくしたいし、明るい未来をつくっていききたいです。



現場担当技術者からのエール  
(上伏間江護岸その2工事 宮崎監理技術者)



現場担当技術者からのエール  
(上伏間江護岸その3工事 西川監理技術者)



ドローンから撮影した関係者集合写真

## 職員や受注業者の親子を対象に現場見学会を開催

利賀ダム工事事務所 1/2

8月23日(水)利賀ダム工事現場と上百瀬土砂災害現場にて親子見学会を開催しました。子どもたちに普段見ることのできないおひるに仕事をしているパパ・ママと一緒に見学してもらうことで、家族の仕事への理解を深めるとともに、建設業の将来の担い手になってもらいたいという主旨の基、利賀村建設業協会と合同で企画したものです。子どもたちは各現場に直接携わっているパパ・ママから説明を受けたり、機械操作体験等を行いました。

### 親子見学会実施状況 (受発注者親子)

長崎橋 ▶



お母さん頑張ってる!

▲ 庄川橋梁



東京ドーム約25杯分の水が貯まるんだよ!

▲ ダムサイト展望台



回ったりして楽しい!

▲ 上百瀬(無人バックホウ)

今回の見学会を通じて、以下の感想をいただきました。(一部抜粋)

**参加した子供から**

- ・お父さんの仕事を見学して思ったことは、家であまり仕事の話をしていないのでどんな仕事をしているのか知ることができてよかった。
- ・今日の見学で、水をためておいたりして、雨が降らなくて水がへってしまったときにそのダムの水を使ったりしてみんなが困らないようにしている仕事ということが分かりました。
- ・とが村で生活するためにがんばってもらっているなどかじりました。ぼくは、しょうらいこういう仕事がしたいです。
- ・わたしは、この仕事見学で、お父さんのしている仕事はすごくやくにたつ仕事だなと思いました。
- ・私のお父さんも、いつも大変なことなどを毎日しているので家で「休んでいいよ。」といってあげたいと思うようになりました。

**参加したパパ・ママから**

- ・これからは家庭でも子供と仕事の話をする時間を作っていきたいと思います。
- ・子どもには、こんな仕事をしているところ...と折を見て話しているが、建設現場を間近で見せられる 機会は今までに無く、良い機会だった。
- ・親の仕事の内容や土木工事の重要性を理解できたようで大変嬉しく感じました。



心温まる感想をありがとうございました。  
 今回の見学会を期に親子ともに仲を深め、  
 建設業に興味を持っていただければ幸いです。

**富山工業高校の1年生40名が港湾工事の現場見学会を実施**

北陸建設界の担い手確保・育成  
 推進協議会 参考資料①

平成29年9月5日(火)、「産((一社)日本埋立浚渫協会、富山県港湾建設協会)・「学(新潟工業高等学校)・「官」の3者が連携し、富山工業高校土木工学科1年生40名を対象に、伏木富山港(新湊地区)の港湾工事の現場見学会を実施した。

まず貨物量の増大・コンテナ船の大型化に対応するための既存岸壁の延伸工事についての事業概要の説明を伏木富山港湾事務所から、実際の工事の概要説明を受注者から説明した後、現場見学場所へ移動となった。

見学後の質疑応答では、唯一の女生徒から「(土木業界での)女性の割合はどのくらいですか?」との質問があり、当工事受注者からは「当社では女性社員は5名程度ですが、建設業界では女性社員を増やしているところですよ。」との回答があり、当事務所からは「国土交通省では女性の割合30%を目指しています」と回答しました。

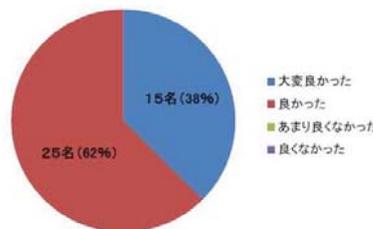
アンケート結果からは、「仕事のイメージが変わった」「港を造る必要性や安全作業が大事なことがわかった」等の回答を得た。

**現場見学会の状況**

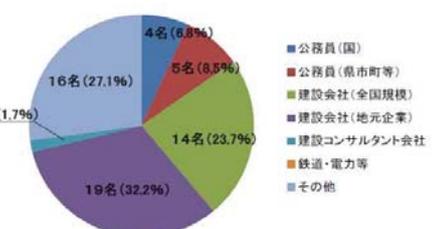
**アンケート結果 (対象:男子39名、女子1名)**



工事見学会は、参加して良かったと思いますか。



将来の進路は、どのように考えていますか (複数選択可)。



**その他、感想、意見、要望等、“生の声”をお聞かせください。**

- ・仕事のイメージが変わったのでよかった。
- ・港を造る必要性や安全作業が大事なことが解って良い体験になった。
- ・土木の仕事に興味が増えた。これからは土木について学んでいきたい。
- ・土木の仕事は大変だけどやりがいのある仕事だと思った。
- ・国際物流ターミナル事業は10年かかると聞いていたが5年程で完成すると聞いて驚いた。
- ・土木工事は危険というイメージがあったが現場の方の話の中で安全第一という事を聞いて安心した。
- ・現場を見た感じとしてとても丁寧に仕事をされており真剣さがよく伝わった。

平成29年12月15日(金)、富山河川国道事務所、伏木富山港湾事務所で、富山工業高校土木工学科2年生38名を対象に座学「国土交通省の仕事」として、北陸地方整備局の河川・道路・砂防・港湾の事業について講習を実施した。

1時間目は富山河川国道事務所から「社会資本整備のあゆみ」として、砂防・河川・道路整備の歩みとICT技術を活用したネットワークの構築、広域危機管理体制やTEC-FORCE等の災害への備えを講義し、2時間目は伏木富山港湾事務所から「港湾整備事業について」港の役割や北陸地方整備局の港湾の整備事業、みなとまちづくり等を講義しました。

合計約90分の講義を行い、講義後の質疑応答では、「これから優先的に整備する公共工事は?」「河川・道路・港湾の予算額は?」と鋭い質問ができました。先生からは「担い手不足と言われている土木界だが、担い手確保のため新たに取り組んでいることは?」などの質問がありました。

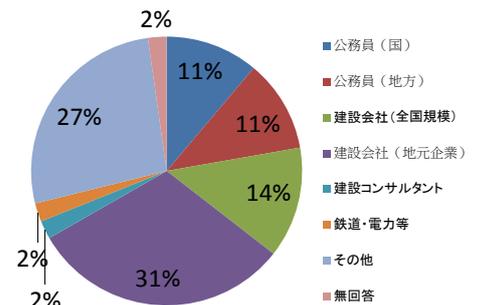
最後は生徒代表のあいさつで、「このような土木関係者の話を聞く機会は貴重な経験となります。将来、土木の道に進む際には役立てていきたい。」と締めくくりました。

### 講習会の状況



### アンケート結果

将来の進路はどのように考えていますか? (複数回答可)



## 「みなとの見学会」を実施

伏木富山港湾事務所

普段の暮らしにも密接な関わりを持つ伏木富山港について学び、興味や関心、愛着を持ってもらえる機会を提供することを目的として、射水市内小学校及び高岡市内小学校の5年生を対象に「みなとの見学会」を実施した。

合計参加者数は、射水市内小学校5校195名、引率者21名、高岡市内小学校4校169名、引率者25名となった。

#### 【実施内容】

射水市内小学校			
新湊大橋(あいの風プロムナード)を徒歩で見学→富山県営渡船(越の湯フェリー)乗船見学→国際物流ターミナル見学			
6/28 射水市立 作道小学校	5年生	46名	引率者他 4名
6/30 射水市立 堀岡小学校	5年生	18名	引率者他 3名
7/8 射水市立 放生津小学校	5年生	35名	引率者他 5名
7/13 射水市立 新湊小学校	5年生	48名	引率者他 5名
7/15 射水市立 片口小学校	5年生	48名	引率者他 4名
合計		195名	21名

高岡市内小学校			
港湾業務艇「なごかぜ」船上から伏木富山港(伏木地区)を見学→新湊大橋(あいの風プロムナード)を徒歩で見学			
7/6 高岡市立 牧野小学校	5年生	70名	引率者他 10名
7/11 高岡市立 太田小学校	5年生	14名	引率者他 2名
7/12 高岡市立 古府小学校	5年生	49名	引率者他 8名
7/13 高岡市立 伏木小学校	5年生	36名	引率者他 5名
合計		169名	25名



みなとを見学(港湾業務艇なごかぜ船上から)



国際物流ターミナル見学



新湊大橋(あいの風プロムナード)見学



富山県営渡船(越の湯フェリー)の説明を聞く児童



みなとを見学(港湾業務艇なごかぜ船内)



国際物流ターミナル見学



新湊大橋前で記念撮影



富山県営渡船(越の湯フェリー)帽子を振り別れの挨拶

# 建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成①)

## 将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成

⇒県単独事業 **(H29最終年度)** において、

- ・トイレの改装やシャワー設備の改修、最新型の作業服の購入、労働環境改善のための社内規定の整備など、働きやすい職場になるような**労働環境改善への支援を実施**(H27~)



ファン機能付き作業服

【H27-H29実績】

- ・トイレ等の改修 **14社**
- ・最新型作業服導入 **13社**
- ・就業規則等の改定 **2社**

⇒厚生労働省の「地域創生人材育成事業」 **(H29最終年度)** を活用し、

- ・資格取得支援講座（建築施工管理技術、土木施工管理技術検定等）、新入社員向け研修、就職直前技能向上研修、就職PR事業等の**建設人材教育訓練を実施**(H27~)
- ・建設企業における女性や若手従業員の増加に向けて、雇用型訓練と職場外研修を実施し、**建設人材の確保及び育成を行う**(H28~)

土木・建築施工管理技術検定試験の短期集中対策講座や要望の多い技術講習など資格取得に向けての支援講座を開催  
また、土木系学科の高校1年生を対象に出前講座を実施。

【H28、H29実績】 **14社**



新年度、新たに中途採用で女性や45才未満(昨年度は35才未満)の若者の技術者等を雇用して、人材育成を行う建設企業に対して雇用型訓練を委託する。また、短期訓練(3ヶ月)についても新たに対象とする。

# 建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成②)

## 高校への出前講座の実施(H28~)

- ・建設業協会と連携し、**県内土木系高校4校の1年生や保護者を対象**に、建設業の社会的役割やものづくりの素晴らしさを伝え、入職促進に関する情報を発信
- ・建設業で活躍する高校OBの若手技術者等から、「仕事内容」や「やりがい」など、**建設業の魅力を紹介**

### 南砺福野高校

- ・平成29年10月25日(火)
- ・農業環境科30名(1年生 30名)

### 高岡工芸高校

- ・平成29年10月27日(金)
- ・土木環境科40名、建築科40名(1年生 80名)、保護者

### 桜井高校

- ・平成29年11月14日(火)
- ・土木科40名(1年生 40名)

### 富山工業高校

- ・平成29年12月19日(火)
- ・土木工学科40名、建築工学科40名(1年生 80名)



南砺福野高校



高岡工芸高校

(主な意見)※H29年度「生徒の感想文」より

- ・建設業には3Kのイメージがあったが、魅力を知ることができた。
- ・災害復旧や除雪など、社会に役立つ大切な仕事だと分かった。
- ・「地図に残る」仕事に誇りを持っていて、大変だけどやってみたいと思った。
- ・技術者の仕事は事務処理が多くびっくりした。
- ・製造業にはないオンリーワンの物を造っている魅力的なものだと分かった。
- ・女性が働きやすい職場環境に努めていることが理解できた。

# 建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(社会資本の役割や建設産業の魅力のPR)

## 県政バス「富山どぼく発見！ツアー」(H20～)

- ・平成29年8月1日(火)実施
  - ・小学生以上18歳以下の子供とその保護者等を対象
  - ・県内の土木施設や施工現場などを見学
- 【H29実績】 30名参加  
(子供17名、保護者13名)
- (主な内容)
- ・ペーパーブリッジ教室 ・富山大橋の見学
  - ・富山テレビ放送 元気とやま みんなのクイズ番組収録の見学

## 平成29年度の様子



ペーパーブリッジ教室



富山大橋の見学

## 富山県立大学「ダ・ヴィンチ祭」へ建設業ブース出展(H28～)

- ・平成29年8月5日(土)実施
  - ・建設業協会、建設コンサルタツ協会、測量設計業協会と連携して実施
  - ・建設業のイメージアップ、将来の担い手確保のため、楽しみながら建設技術を体験
- 【H29実績】 298名受付  
(高校生以下167名、一般132名)
- (主な内容)
- ・ドローンの実演飛行 ・測量体験 ・VR(バーチャルリアティ-)による工事現場体験
  - ・ミニショベルの遠隔操作 ・ペーパーブリッジの製作

## 平成29年度の様子



VR体験



測量体験

## 土木学会中部支部「とやまの土木見学会」(3年に1回)

- ・平成29年10月21日(土)実施
  - ・土木学会中部支部と共催で実施
- 【H29実績】 31名参加  
(中学生以下8名、一般23名)
- (主な内容)
- ・富山駅付近連続立体交差事業、富山きときと空港、富山伏木港国際物流ターミナルの見学

## 平成29年度の様子



富山駅



国際物流ターミナル

### 平成29年度 担い手確保・育成 (一社)富山県建設業協会の取組み

1. 高校生建設系学科生徒の保護者との懇談会	2. 高校生の保護者を対象とした現場見学会
<p>高校生の進路選択に影響のある保護者を対象とした懇談会を実施 建設業の現状を説明したほか、高校OBの若手技術者や地元企業の経営者から建設技術者の仕事内容、建設業の重要性等を説明し、意見交換を行った。</p> <p><b>○富山工業高校</b> 日 時：平成29年10月21日(土) 10:00～11:30 出席者：土木工学科・建築工学科1・2年生の保護者18名、教諭 建設業協会 竹内会長ほか協会役員2名、事務局 富山県土木建設技術企画課 会員企業の技術者2名(同校卒業生)</p> <p><b>○高岡工芸高校</b> 日 時：平成29年10月21日(土) 14:00～15:30 出席者：土木環境科・建築科1・2年生の保護者25名、教諭 建設業協会 竹内会長ほか協会役員2名、事務局 富山県土木建設技術企画課 会員企業の技術者2名(同校卒業生)</p> <p><b>意見交換内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場でどのような資格が必要なのか →技術者として活躍するには施工管理技士の資格が必要。学歴により受験できる経験年数が違うが、建設系学科の方なら在学中に学科試験を受験できる。</li> <li>・学歴によって待遇や昇進に違いはあるのか →学歴によって初任給は違うが、昇給を考慮すると同じ年齢のときはほとんど同じ給与となる。資格試験までの年数も違うが、合格後は実力次第。</li> <li>・女性が現場で活躍することについては →女性技術者だからといって特別に苦勞したということはなく、職人さんは優しく対応してくれるので、むしろ仕事はやりやすい。 →近年、現場ではトイレをはじめとした環境整備が進められている。</li> </ul>	<p>高校生(普通科等含む)の保護者を対象に、建設業の役割や魅力を理解してもらい、子供の進路選択など将来の担い手確保に繋げるための見学会を実施</p> <p>期 日：平成29年10月12日(水) 参加者：9名 見学場所：一般国道41号 富山高山連絡道路 猪谷榎原道路 富山県立大学看護学部施設整備工事 富山県美術館(施設見学)</p> <p>質疑等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術者の方々の仕事内容は →技術者は工事のスケジュールを組んで専門工事の方々へ指示を出す立場。提出書類の作成などもあり、デスクワークが大半になる。</li> <li>・専門工事とは →例えばコンクリートを打つ場合、型枠や鉄筋などを別の会社で行う。そうした専門的な作業を行う職種を専門工事と言っている。</li> <li>・高卒と大卒で、就職後の昇進や待遇は変わるのか →大手だと役員になれるのは大卒だけだが、県内の会社ではその人のやる気と実力次第。実際に当社では高卒で役員になっている人もいる。</li> </ul>
3. ダヴィンチ祭へのブース出展	
<p>富山県立大学が実施するダヴィンチ祭に県などと協力して建設業をPRするためのブースを出展</p> <p>期 日：平成29年8月5日(土) 出展団体：(一社)富山県建設業協会、(一社)富山県測量設計業協会、(一社)建設コンサルタツ協会北陸支部、富山県土木部 出展内容：ラジコン重機、建設現場VR体験、ドローンデモ飛行、ペーパーブリッジ教室、パネル展示等 来場者：約300名</p>	

## 鹿児島県桜島火山災害調査の実施結果

### ○日程

平成29年10月24日(火)～10月26日(木)の日程で、国土交通省所管の桜島火山災害現場と鹿児島県庁所管の砂防事業現場の調査を行いました。

参加メンバーは、竹内章富山大学名誉教授を団長にした16名で、今回はその調査団の中に、富山県立大学環境工学科学学生2名にも参加していただきました。

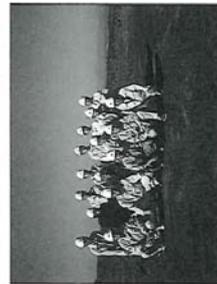
### ○現地調査

#### 【国土交通省大隅河川国道事務所の火山砂防事業】

桜島の火山砂防事業は、桜島が現在も活動中で、南岳と桜島の火口半径2km圏内は警戒区域で立入禁止となっており、土石流の発生源対策はできる状況ではないので、土石流の流下を抑制するとともに、土石流を安全に海まで流すことを対策の基本としていました。

桜島国際火山砂防センターでは、砂防工事の現況、工事中の安全対策、火山活動の監視・観測体制と地震変動監視・観測などの説明を聞きました。

その後、現地は、大規模な噴火などの立ち入り禁止区域外で、火山土石流対策工事を実施している状況を調査しました。



### 平成 29 年度「子供防災教室(立山カルデラ砂防勉強会)」の開催結果

#### ○目的

- 安政 5 年(1858)の地震により、常願寺川上流の立山カルデラ内で 4.1 徳立方メートルの大崩壊が発生し、その土砂が土石流となり下流の富山平野で 140 名の死者を出しました。
- 未だその半分の 2 徳立方メートルがカルデラ内に堆積しており、今日の荒廃の原因になっています。常願寺川では大雨が降るたびに、富山平野に土砂を流す黒れ川となり、砂防事業は明治 39 年(1905)富山県で着手し、大正 15 年(1926)国の直轄事業に移され、現在も、富山平野を土砂災害から護るため、劣悪(不便、危険)な環境の中で、多くの人たちが働いています。
- 富山県では、「立山・黒部」の世界文化遺産登録を目指し、カルデラ内の立山砂防を中心に国際的な評価の検証・確立等に取り組んでおられます。
- 富山支部では、4年前から、斜面防災の重要性を流域の小中学生を対象に、直接カルデラ内での体験学習の場を企画し実施しており、今回は5回目となります。
- 常願寺川流域の小中学生が、自分たちが生活している土地や、人の安全のために行われているカルデラ内の防災事業の砂防を勉強し、常願寺川の自然や砂防・治水などについて学び、斜面防災の大切さに関する教育の向上を目的としています。

#### ○実施日

平成29年9月1日(金)天気:晴れ

#### ○場所

立山カルデラ(富山市、立山町)現地

#### ○参加者

立山町立立山中央小学校6年生  
(生徒85名、教員4名、案内・随行6名、合計95名)

#### ○

主催:(一社)斜面防災対策技術協会富山支部  
協力:富山県、国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所

#### ○勉強会行程(小学校 8 時 30 分発～17時着)

立山中央小学校 発⇒立山カルデラ砂防博物館⇒立山砂防事務所出発(10時)トロッコ⇒水谷平(昼食)⇒白岩砂防堰堤(国指定重要文化財)⇒六九谷展望台⇒立山温泉跡地⇒跡津川断層⇒有峰記念館⇒立山中央小学校 着

白岩砂防堰堤(国指定重要文化財)



六九谷展望台



立山温泉跡地



### 高校生の保護者を対象とした現場見学会 概要

開催日：平成 29年 10月 12日(木)

参加者：9名(高校1～2年生の子供を持つ保護者等)

見学先：一般国道41号 富山高山連絡道路 猪谷楡原道路

説明：富山河川国道事務所、水新建設、朝日建設

富山県立大学看護学部施設整備工事

説明：果土木部宮繕課、日本海建興、近藤建設

富山県美術館(施設見学)

説明：果土木部宮繕課

#### 保護者の質問

(猪谷楡原道路)

・ICTの導入で作業は楽になったか。

→丁張をするための人員が不要になったので、その分の人手が少なくても作業ができるようになったのと、重機の周りに人が立つ必要がないので安全に作業できるようになった。

・皆さんの仕事内容は。

→技術者は工事のスケジュールを組んで専門工事の方々へ指示を出す立場。専門工事の方々に作業内容を伝え、安全などにも配慮しながら工事を進める。現場の管理のほか、役所に提出する書類やそれに必要な写真の整理なども作るので、デスクワークが大半になる。

・専門工事とは。

→コンクリートを打つにしても、型枠や鉄筋などそれぞれが別の会社で行っており、そうした専門的な作業を行う会社の事を専門工事と言っている。

・就職する時には高卒と大卒で差が出るのか

→資格を取得するのに経験年数が必要だが、高卒と大卒で必要な年数が違う。ただ、取得できる年齢で見ると大きくは変わらない。資格を取得してからは、やれる仕事は変わらない。

(看護学部施設整備)

・高卒と大卒で、その先の昇進や待遇は変わるのか。

→大手ゼネコンの場合だと役員になれるのは大卒だけだが、県内の会社ではその人のやる気と実力次第。実際、当社では高卒で役員になっている人もいる。

・女性はどれくらいいるのか。女性でも活躍できるのか。

→業界内の女性はまだまだ少ないが増えてきており、この現場でも若い女性技術者が働いている。昔は無かったが、今は女性専用のトイレがある現場も出て女性でも働きやすい環境になってきた。育児休暇制度などの整備も進んでいると思う。

4

ることで経費の削減と資源の循環が確立できる。」と土砂災害防止と環境保全の事例などを学術的に詳しく講演して頂きました。



石川芳治教授

#### 技術報告

国土防災技術財団 田中寛治執行役員総経理環境事業部長からは、植物活性剤の「フルボ酸」についてと題しての技術報告をして頂きました。

内容としては、フルボ酸の開発の背景、生成方法、利用事例と利用の技術、また、フルボ酸が地球環境問題へ貢献している事例などを紹介して説明して頂きました。



田中寛治執行役員総経理環境事業部長

#### 体験報告

斜面防災対策技術財団富山支部では、平成25年度から国土交通省立山砂防事務所の協力を得、斜面防災の重要性を知ってもらうため、常陸寺川流域の小学生を対象に直接立山カルデラで防災事業等を体験する勉強会を企画しています。

今年度は、富山県立大庄小学校5年生に昨年9月実施した立山カルデラ内の体験学習と、国土交通省立山砂防事務所職員の方から土砂災害と砂防の役割について、体験学習、機型実習と講義を通して教えてもらったことなどを踏まえ、常陸寺川上流での砂防の役割と「日常の暮らしは立山砂防事務所職員とその作業にかわっている作業員の方などに守られている。」との発表を舞台劇と歌で発表してもらいました。防災を担当する団体として感動の体験報告会でした。



富山県立大庄小学校5年生

- ・女性だから働きにくいということはないか。  
→数少ない女性なので、現場では大切にされると思う。昔は乱暴なこと言う職人さんもいたが、今そういう人は減ってきた。  
→（女性技術者）女性だからと言って特別働きにくいとは感じない。職人さんちやんと話を聞いてくれる。
- ・働く環境は良くなってきているのか、  
→昔は3Kと言われたが、働き方改革が進められ、当社でも土曜の休みを増やしたり、残業を短縮するような取組みが行われている。

（保護者の意見・その他）

- ・子供が建設業を好きで、自ら土木科を選んで将来も土木の企業に就職したいと言っている。自分は現場の事を全く知らなかったため、子供が行きたがっている業界を知る良い機会だと思って応募した。今日は現場も見られて、働いている人の話も聞いたので良い体験になった。帰ったら子供とも色々話してみたい。
- ・子供はサッカー選手になるという夢を持っているが、なれるのかどうか、なれても続けられるのかが不安。もし普通に就職するとなった時に色々な職業の事を知っていれば相談に乗れると思うて参加した。今日はこういった仕事があることや、建設現場の事が知れて良かった。
- ・現場には技術者と、専門工事の職人や技能職と呼ばれる人がいることを初めて知った。これから、普段見る現場の見方も変わると思う。
- ・技術者と専門工事の仕事内容が違ふ事を知って、子供は書類作りに向けてなさそうなので、どちらになりたいのか仕事内容の違いも含めて話をしてみようと思った。
- ・良い話はいっぱい聞けたけど、大変な部分も知れたかった。子供には良い部分も大変な部分も知ったうえで将来を考えてほしい。





# 担い手協議会参画教育機関の

## 進路状況について

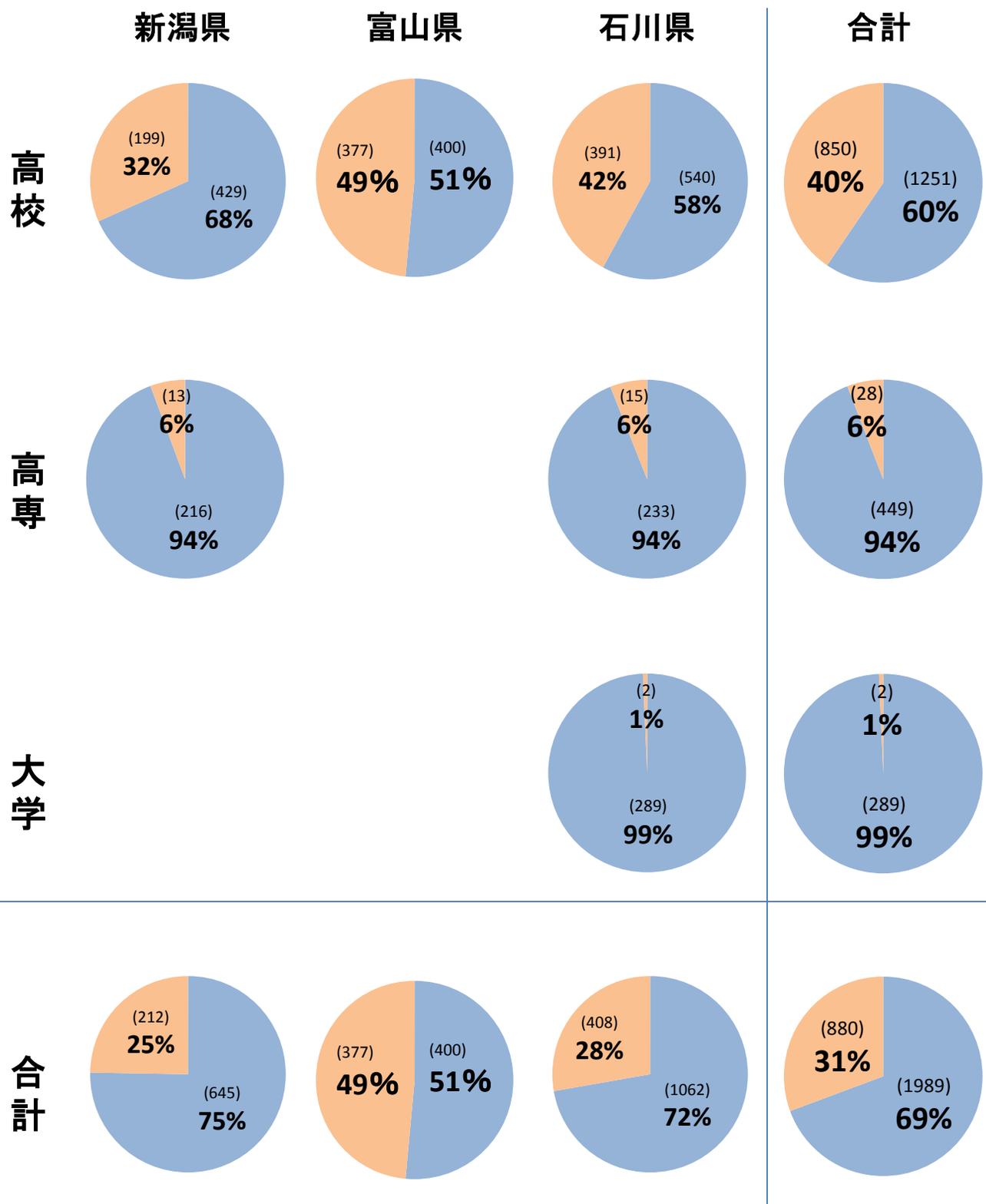
平成30年 2月 1日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

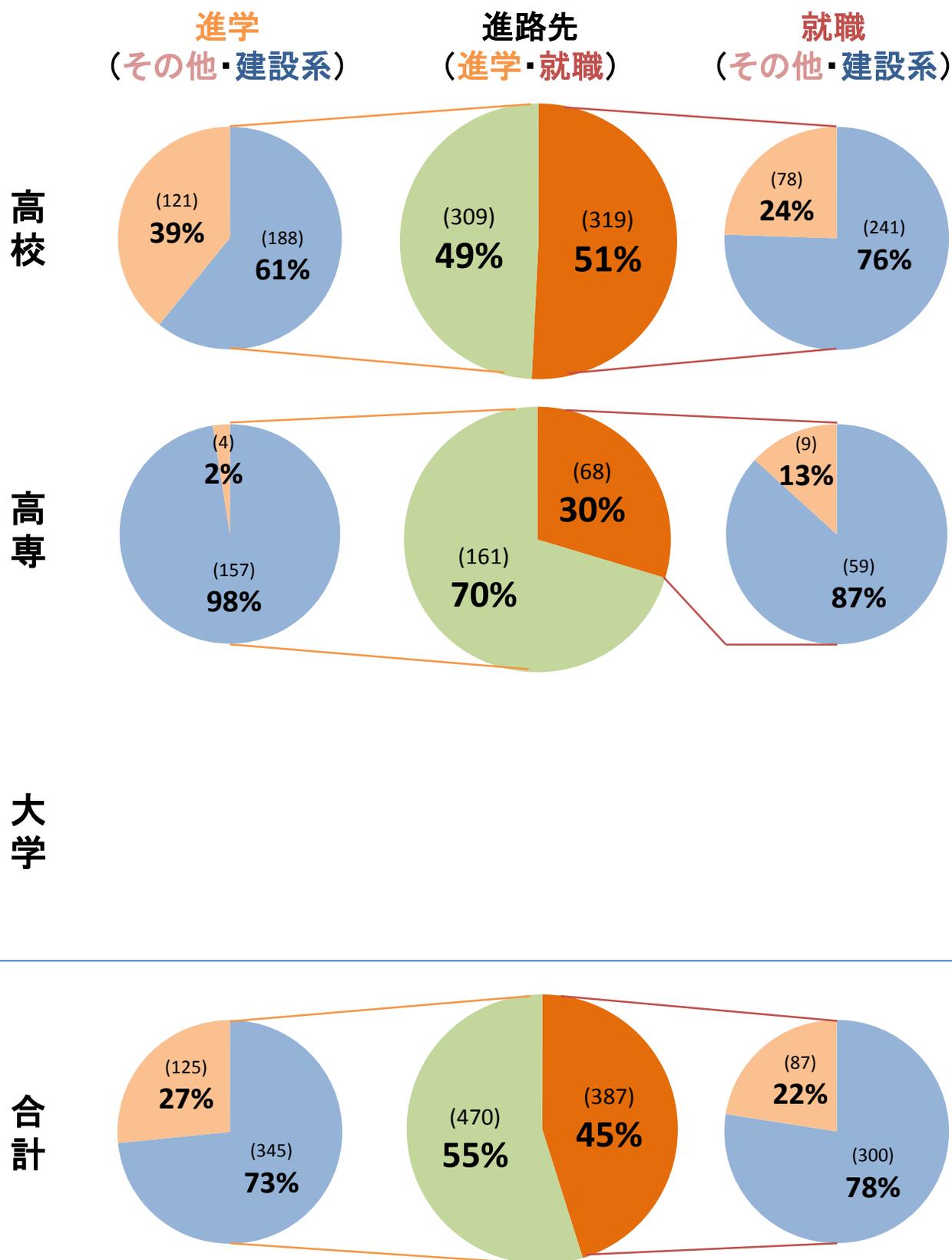
# ■ 担い手協議会参画教育機関の進路状況

(平成24～29年(内定)までの6カ年の進学+就職者数)

(その他・建設系)

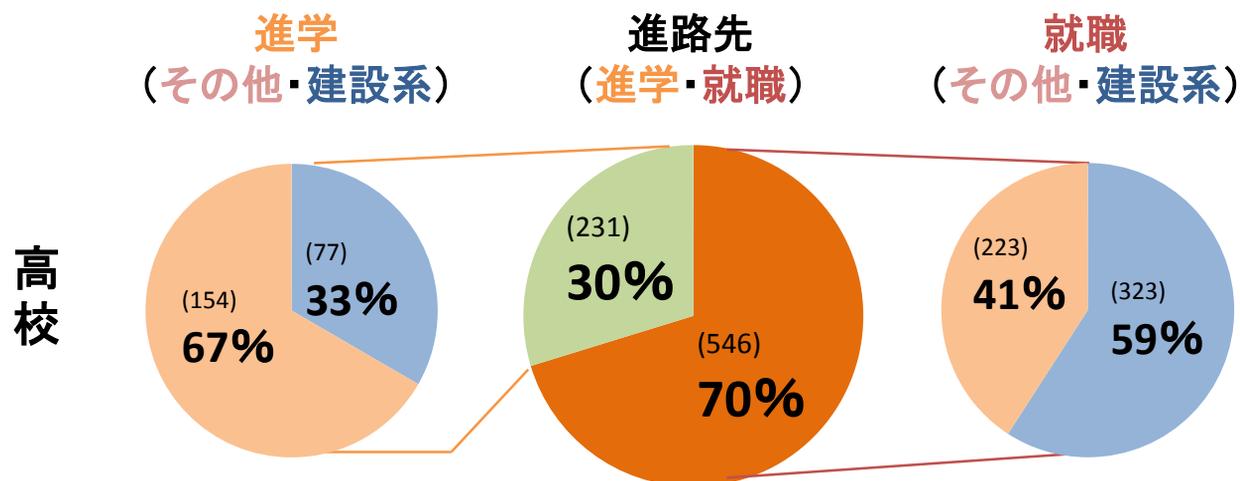


# ■新潟県の進路状況



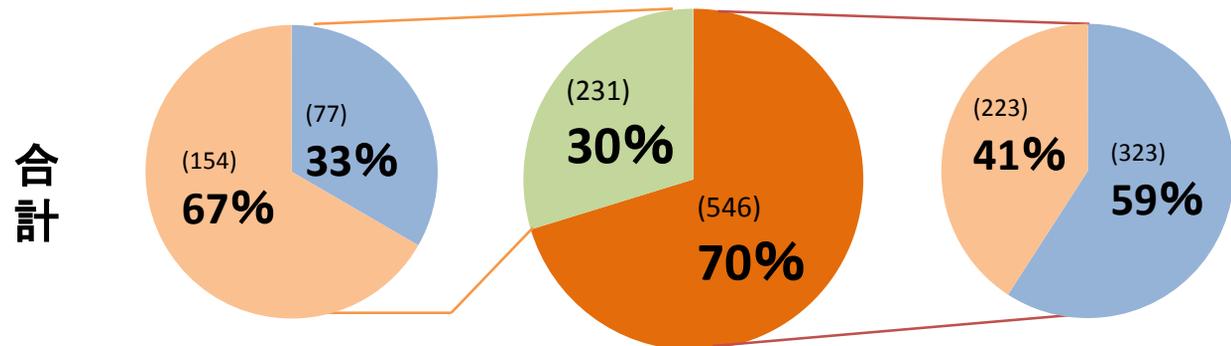
(平成24～29年(内定)までの6力年の総数)

# ■富山県の進路状況



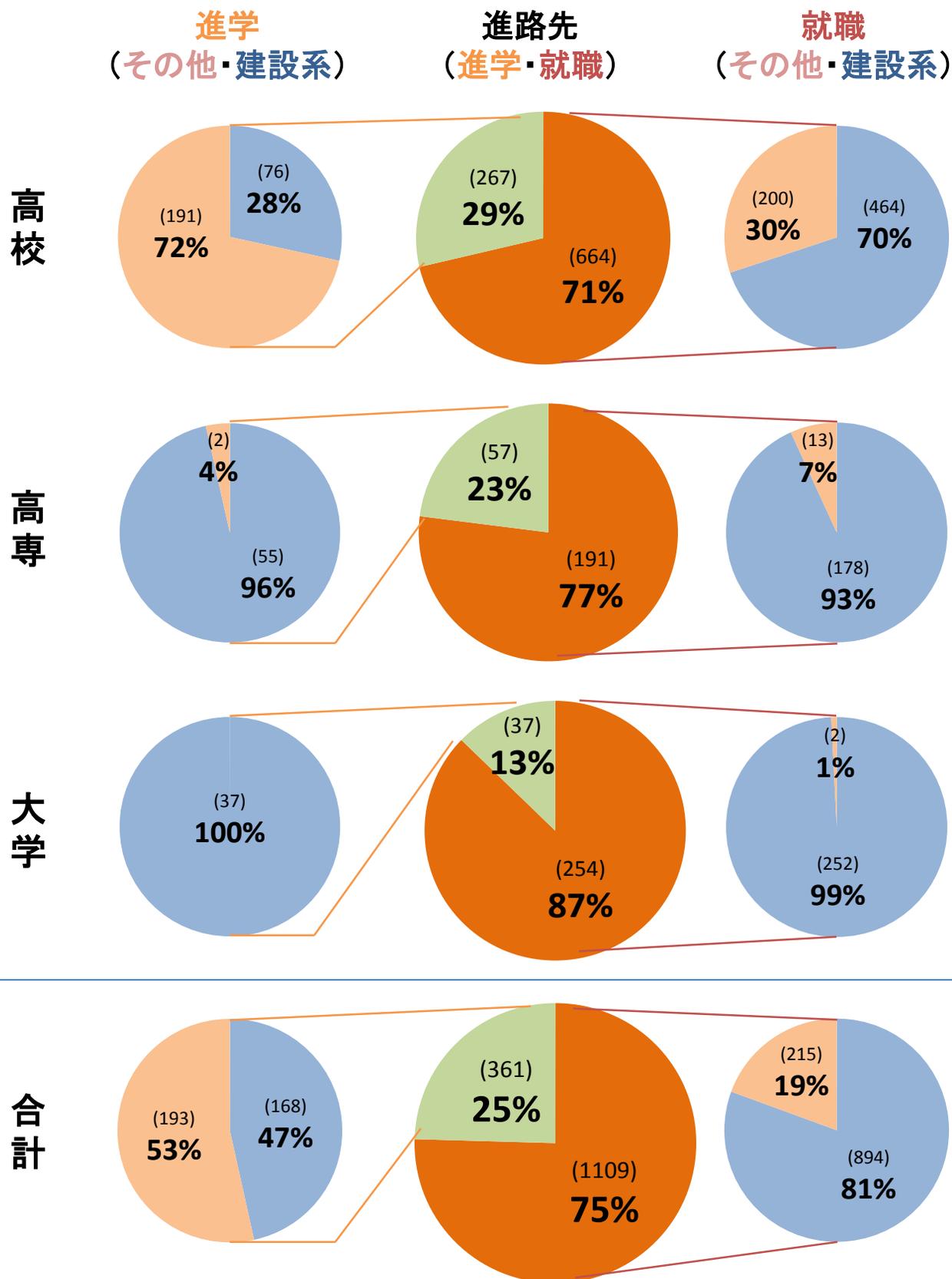
高専

大学



(平成24～29年(内定)までの6カ年の総数)

# ■石川県の進路状況



(平成24～29年(内定)までの6カ年の総数)

# 平成30年度の活動予定

## 【富山県部会】

平成30年 2月 1日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会  
(富山県部会)

◆ 大学カリキュラムに連続講座を開設 (北陸地方整備局)

富山県立大学		
対象	1年生	2 + 4年生
学期	前期	前期
概要(予定)	◆ 座学+現場見学	◆ 座学+現場見学



富山県立大学1年生による連続講座の様子

◆ 建設系高校における講座の開設等 (北陸地方整備局・富山県・富山県建設業協会 等)

富山工業高校				桜井高校		
対象	3年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生
学期	2学期	2学期	2学期	1学期	2学期	2~3学期
概要(予定)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (埋立浚渫協会) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 現場見学 (建設業協会) ◆ 講座 (インフラの歴史と役割)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (宇奈月ダム) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割等)	◆ 現場見学 (海岸工事) ◆ 講座

高岡工芸高校				南砺福野高校				
対象	3年生	2年生	2年生	1年生	1・2年生	1・3年生	2・3年生	1年生
学期	1学期	1学期	2学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
概要(予定)	◆ 現場見学	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (建設業協会) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 現場見学 (利賀ダム)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学	◆ 講座 (建設業の魅力と役割)

※その他、関係機関個別に現場見学等を実施予定。

建設系学生・生徒への活動【インターンシップの充実】

平成30年度の活動予定 (富山県部会)

◆ 建設系高校生へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の高校生
- 実習時期：概ね7月~10月
- 実習場所：県内の企業、官公庁
- 実習内容：勤労観・職業観の育成、就業体験
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会、県建設業協会、測量設計業協会、北陸地方整備局
- ※ 従来の業団体との連携に加え、協議会として連携を図り、インターンシップを充実

◆ 高校生を対象としたSABO体験楽校 (北陸地方整備局)

県内の高校生を対象に、砂防現場の実体験や工事施工に携わる人々との交流を通じ、学校の授業では得難い砂防の工事を実際に体験。

- 対象学生：富山県内の高校生10名
- 実習時期：夏休み中2泊3日
- 実習場所：北陸地方整備局 立山砂防事務所管内

◆ キャンプ砂防 (北陸地方整備局)

- 目的：中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考える。
- 対象学生：砂防を専攻する大学生、又は砂防に関心を持つ大学院・大学・高専の学生
- 実習時期：概ね7月~9月の1週間程度
- 実習場所：北陸地方整備局管内砂防事業所管事務所

◆ 県内大学・専門学校生等へのインターンシップ (富山県インターンシップ推進センターとの連携)

- 富山県内の大学・専門学校が加盟する富山県インターンシップ推進センターと連携を図り、インターンシップ情報・活動の充実を図る。

※平成29年12月の新システム移行に伴い、平成30年度登録に向けては調整中

SABO体験



山腹工体験



情報化施工体験

キャンプ砂防



コンクリート打設体験



富山県インターンシップ推進センターHP

◆ 社会に学ぶ 14歳の挑戦（富山県教育委員会）

行動領域が広がり活動が活甦になる中学2年生が、1週間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加することにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、成長期の課題を乗り越えるたくましい力を身につけることを目指す。

- 時 期：地域や学校の実情等を踏まえて設定
- 期 間：1週間（実際の活動は土日を除く5日間）
- 対 象：県内全公立中学校で実施



冊子：14歳の挑戦

◆ 立山カルデラ砂防体験学習会（富山県立山カルデラ砂防博物館）

立山カルデラを実際に訪れ、自然・歴史と砂防を自分の目で確かめる。

- 日 時：7月～10月秋
- 参加資格：小学3年生以上（小学生は保護者同伴）。
- 内 容：立山カルデラまでの移動手段として、立山砂防事務所の砂防工事専用軌道のトロッコ列車を利用するコース。立山カルデラまでの移動にバスを利用するコース。  
本宮砂防えん堤、護天涯の碑・噴泉、白岩砂防えん堤を巡る（文化遺産巡りコース）  
白岩砂防えん堤を見学後、常願寺川下流の大転石などを巡る（常願寺川流域コース）



立山カルデラ砂防体験学習会の様子

◆ 県政バス教室の実施（富山県）

子ども達を対象とした県政バス教室「富山どぼく発見！ツアー」の開催を予定。

◆ 土木事業を紹介する小冊子の作成（富山県土木部）

各種の土木事業を紹介する小冊子「とやまの土木」を作成し、県内全ての学校へ配布。



◆ 市民現場見学会の実施（日本建設業連合会 北陸支部）

大学生や高専学生の夏季休暇期間（7月～9月）に現場見学会を予定。

◆ 建設コンサルタントをPRする冊子の配布（建設コンサルタンツ協会北陸支部）

建設コンサルタントの「仕事と魅力」の理解促進を図る「社会貢献活動」の一環として、北陸支部管内の小学校、中学校へ「出前講座」のチラシ等を配布予定。



第8回 とやま建設フォトコンテスト 特選

◆ 「とやま建設フォトコンテスト」（県建設業協会）

広く一般の方々を対象に、建設業に関心、理解を深めてもらうための広報として写真を募集・表彰  
募集期間：10月～翌1月



富山市長岡小学校での測量教室「地図教室と測量体験学習」

◆ 富山県立大学 ダ・ヴィンチ祭への出展

（建設コンサルタンツ協会北陸支部、県測量設計業協会）

◆ 小学校での測量教室の開催（県測量設計業協会）

国土地理院北陸地方測量部の協力を得て地図教室と測量教室を実施予定。実習では測量機器の説明・実習のほか、身近なものを利用して「測る」知恵を学んでもらう。



親子現場見学会の様子

◆ 現場見学会の実施（県建設業協会、県地質調査業協会）

小学生や生徒の保護者を対象に現場見学会及び子供防災教室等を実施予定。

◆ 女性も活躍する建設業界に向けた情報発信・環境改善

女性の視点で発掘した建設業の重要性や魅力をPRするためのパンフレット「TSUKURU」  
（H28年度作成）を配布。（富山県・県建設業協会）



TSUKURU 目次

◆ 講座、研修の充実（県建設業協会）

① 就職直前技能向上研修

次代を担う若者に対しスムーズな入職と定着の促進を図るため、理解が深まるよう就職直前技能向上研修を企画・検討

② 新入社員フォローアップ研修

生活環境の変化と業務に追われる毎日から、悩みや不安を解消できず自分を見失いがちにならないよう新入社員フォローアップ研修を充実。

③ 建設業資格取得支援講座

土木施工管理技術検定試験や建設業経理士試験の取得に対し、試験直前の対策講座を実施。建設業への魅力や仕事に対する理解を深めてもらい、担い手確保を促進。



就職直前技能向上研修



新入社員フォローアップ研修

# 平成30年度の活動予定

新たな取り組み

【富山県部会】

平成30年 2月 1日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会  
(富山県部会)

平成30年度 建設系学生・生徒への取り組み 講座開設等における役割分担(案)

◆大学カリキュラムの連続講座の開設

H29.12 時点

機関	学年	回数	カリキュラム	H30予定	(参考)H29実績		(参考)H28実績	
富山県立大学	前期 (1年生)	1回目	地域の物語	富山河国 or 立山砂防 or 利賀ダム工事	富山河国(総論)	6月30日	立山砂防(総論)	6月24日
		2回目	個別事業現場		利賀ダム工事(現場)	7月7日	立山砂防(砂防)	7月5日
		3回目	個別事業現場		-	-	利賀ダム工事	7月30日
	前期 (2・4年生)	1回目	地域の物語	伏木富山港湾	伏木富山港湾(総論)	7月14日	-	-
		2回目	個別事業現場		伏木富山港湾(現場)	7月21日		

H30年度の開催時期・実施内容は学校側と今後調整

富山大学	H30年度以降、調整
------	------------

◆建設系高校における講座の開設等

機関	学年	回数	カリキュラム	H30予定	(参考)H29実績		(参考)H28実績	
富山工業	3年生	1学期	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(行政連携)	-	-	建設業協会 (富山県)	7月12日
	1~3年生	夏期	現場見学 (SABO体験学校)	立山砂防	立山砂防	8月1日~3日	立山砂防	8月2~4日
	1年生	2学期	現場見学 (埋立浚渫協会共催)	伏木富山港湾	伏木富山	9月5日	伏木富山	9月6日
	2年生	2学期	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(行政連携)	建設業協会 (富山河国・富山県)	9月22日 11月1日	建設業協会 (富山河国・富山県)	9月23日
	2年生	2学期	講座 (インフラの歴史と役割)	伏木富山・富山河国	伏木富山・富山河国	12月15日	伏木富山・富山河国	12月9日
	1年生 +保護者	2学期	講座 (建設業の役割と魅力)	富山県・建設業協会	富山県・建設業協会	12月19日	富山県・建設業協会	12月13日
桜井高校	3年生	1学期	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(行政連携)	建設業協会 (黒部河川・富山県)	6月2日	建設業協会 (黒部河川・富山県)	6月3日
	1~3年生	夏期	現場見学 (SABO体験学校)	立山砂防	立山砂防	8月1日~3日	立山砂防	8月2~4日
	2年生	2~3学期	現場見学 (海岸工事)	黒部河川	富山河国 (道路現場)	10月5日	黒部河川	10月6日
	土木部	夏休み	現場見学 (砂防現場見学)	黒部河川	(雨天中止)	-		
	1年生	2学期	現場見学 (宇奈月ダム)	黒部河川	黒部河川	10月31日	黒部河川	10月25日
	1年生 +保護者	2学期	講座 (建設業の役割と魅力)	富山県・建設業協会	富山県・建設業協会	11月14日	富山県・建設業協会	12月19日
高岡工業	3年生	1学期	現場見学	富山河国	富山河国	5月24日	富山河国	7月13日
	2年生	1学期	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(行政連携)	建設業協会 (富山県)	11月7日	建設業協会 (富山県)	7月15日
	2年生	2学期	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(行政連携)	建設業協会 (富山河国・富山県)	9月29日	建設業協会 (富山河国・富山県)	9月30日
	1年生 +保護者	2学期	講座 (建設業の役割と魅力)	富山県・建設業協会	富山県・建設業協会	10月27日	富山県・建設業協会	12月12日
南砺福野	1・2年生	1学期	現場見学	利賀ダム工事	利賀ダム工事	7月13日	利賀ダム工事	7月12日
	2・3年生	1学期	現場見学	富山河国	富山河国	6月12日		
	1・3年生	2学期	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(行政連携)	建設業協会 (富山河国・富山県)	10月19日	建設業協会 (富山河国・富山県)	10月18日
	1年生 +保護者	2学期	講座 (建設業の役割と魅力)	富山県・建設業協会	富山県・建設業協会	10月24日	富山県・建設業協会	10月1日

H30年度の開催時期・実施内容は代表事務所と学校側と今後調整

## 平成30年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：黒部河川事務所

1. 桜井高校において平成29年度に実施した活動を平成30年度も継続実施する。  
なお、29年度は、桜井高校土木部（部活動）での取り組みとして夏休みに砂防現場（トロッコ乗車）の見学を予定していたが、出水により夏休み期間の実施が出来なかった。砂防現場は天候等の影響が大きいですが、引き続き予定したい。
2. 29年度の見学現場について、学校側との調整により、海岸工事の現場見学を道路工事（富山河国）の現場見学に変更した。次年度以降も、意向を確認しながら計画したい。
3. 上記活動に際し、引き続き、建設業協会入善支部において共催の立場で協力をお願いする。
4. 実施にあたっては、学校側の意向も確認しながら希望する現場で対応する等、より充実した内容で取り組むようにしたい。

## 平成30年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：利賀ダム工事事務所

### ○親子見学会の対象拡大(利賀地区→砺波土木センター管内)

H29年度は当事務所職員と利賀村建設業界の親子による見学会を実施し、評判も良かったため対象を利賀地区から砺波土木センター管内まで広げていく。

## 平成30年度の活動予定（※自由様式）

機関名・（一社）富山県建設業協会

### ○平成30年度の活動予定

1. 平成29年度に実施した「高校生の現場見学会」、「高校生保護者との懇談会」等の取り組みを基に継続した取り組みを予定している。また、実施に当たっては学校側や父兄などの要望を整理し、充実を図っていききたい。

※その他 別添参照

2. 県内建設企業への就職が内定した高校生を対象に小型移動式クレーンの運転や操作等の ①「就職直前技能向上研修」、新入社員の悩み不安解消のための ②「新入社員フォローアップ研修」、土木施工管理技術検定試験など「建設業資格取得支援講座」等を予定しており、今後も資格取得などによって建設業への魅力や仕事に対する理解を深め、担い手の確保育成につなげたい。



就職直前技能向上研修

社会人としてこれまでの振り返りと自己チェック良好な人間関係を築くコミュニケーションなど



新入社員フォローアップ研修

## 平成30年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部

### 1. 継続して北陸支部管内の工学系大学等への事業説明

当支部では、平成24年度から継続して支部作成PR冊子「建設コンサルタント」を当支部管内の工学系9大学11学部へ配布し、併せて、当該学部の学生に対して説明会の開催を依頼している。

富山県内では、富山県立大学に行く予定。

また、30年度に新設される富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科に対して支部作成PR冊子「建設コンサルタント」を配付し、マガジンラックの新設・説明会の開催を依頼とする。

### 2. 継続して当支部主催の「業務・研究発表会」への聴講案内

建設コンサルタンツ協会北陸支部が主催し、関係行政機関から後援を頂き、平成30年度は8月8日に富山で開催する予定。

今年も大学生2名からの「学生講演」を予定していることから、前述の富山県立大学・富山大学を含め北陸支部管内の10大学へ開催の案内及び聴講の案内を行う予定。

### 3. 今年度新規として開催した富山県内2大学への建設コンサルタント紹介

- ・富山県立大学：ダヴィンチ祭への出展
- ・富山大学：都市デザイン学部への協賛等

## 平成30年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：富山県地質調査業協会

担い手確保の観点から、来年度も引き続き下記の取り組みを進めていきたい。

- 1 当協会が主催する国内の防災事業の現地調査において、会員技術者と一緒に富山県立大学学生の参加を考えている。  
学生から、その成果を技術講演会での発表をお願いしていきます。
- 2 子供防災教室（立山カルデラ砂防勉強会）を開催し、子供たちにカルデラ内の防災事業の砂防を勉強し、常願寺川の自然や砂防・治水などについて学び、防災の大切さを関する教育の向上も目的としています。来年度は富山市内の小学校6年生を対象に考えています。  
また、子供たちの勉強の成果の発表を予定しています。  
来年度で6回の開催となります。

この小学校では、双方が連携する形で、立山カルデラに案内する前に国土交通省立山砂防事務所へ山砂防の防災対策の重要性の説明や砂防の模型実験を行うなどの勉強会を行っていただくようお願いしたい。

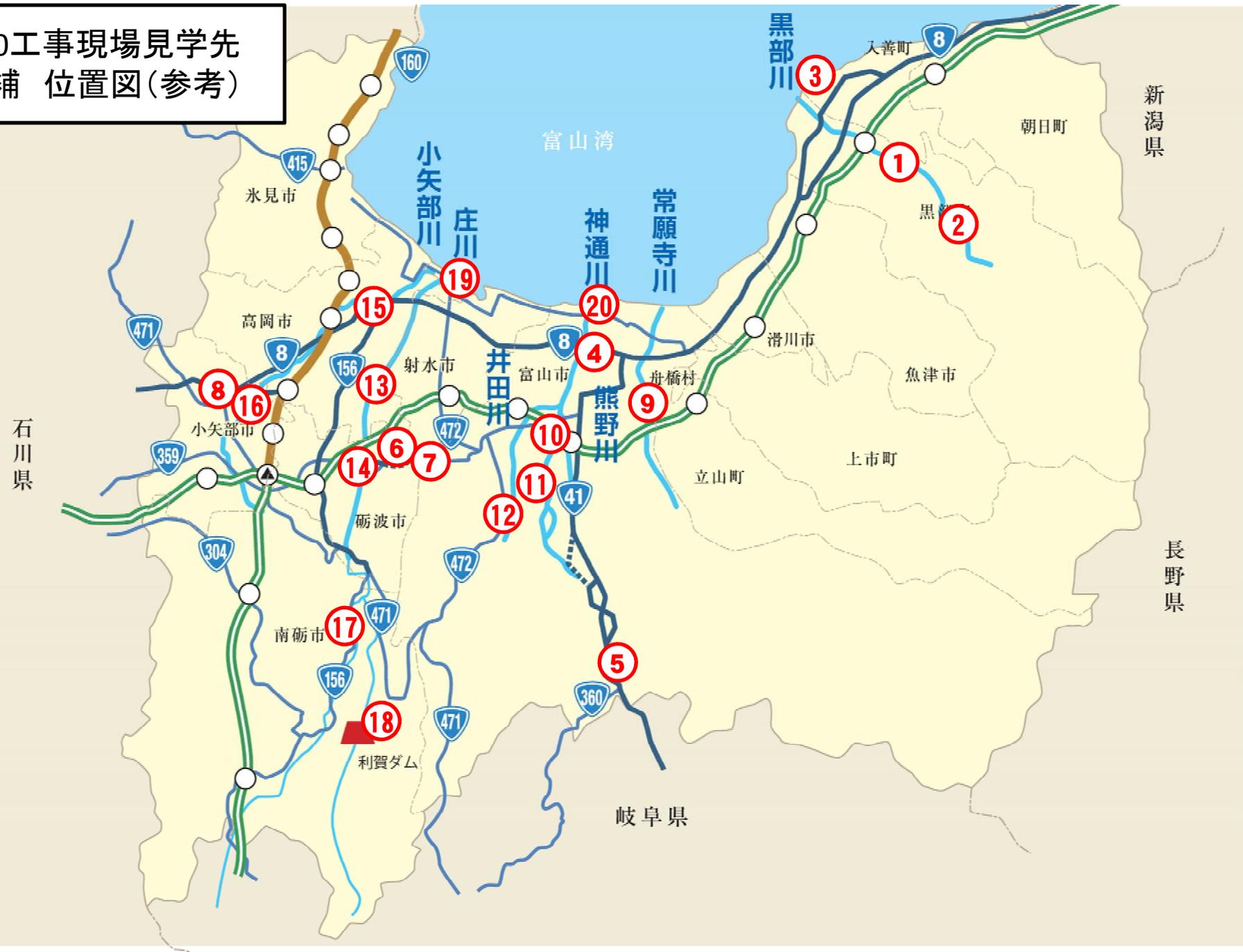
平成30年度 工事現場見学先候補リスト

資料5-③

平成30年7月現在

No.	工事内容(工事名)	種別	時期	地先	内容	調整者・連絡先				
						機関・団体名	担当課	担当者	電話	E-mail
1	黒部川特有の堤防侵食対策工(縦工)	河川	11～翌1月	黒部市宇奈月町浦山	日本有数の急流河川である黒部川において、堤防浸食を防止するための黒部川独自の工法である縦工の施工現場を見学することができる。期間中は、バックホウによる掘削や、クレーンによる根固めブロックの据付等を実施予定。	黒部河川事務所	調査課	岡嶋 康子	0765-52-4686	okajima-y84n8@mlit.go.jp
2	黒部川の伝統工法(石積み護岸)	河川	11～翌1月	黒部市宇奈月町澤平	平成29年7月出水により被災を受けた地域において、再度災害防止のための工事で、急流河川の伝統工法である石積み護岸工の施工現場を見学できる。					
3	海上で船により施工する副離岸堤工事(副離岸堤新設工事)	海岸	8～9月	入善町園家	日本一侵食の激しい新川海岸において、全国でも設置例の少ない副離岸堤の新設工事を見学することができる。期間中は、起重機船(クレーン付の作業船)でのブロック投入や、潜水士によるブロック据付作業を見学することができる。					
4	国道8号豊田新屋立体事業の工事	道路	9～翌2月	富山市飯野～新屋地先	富山跨線橋下部工事(橋台工、橋脚工、橋脚基礎工)の施工現場を見学することができる。	事業対策官	谷口 雄一			taniguchi-y843a@mlit.go.jp
5	国道41号猪谷楡原道路事業の工事	道路	8月～11月	富山市猪谷～片掛	ICTを活用した道路改良工事、片掛橋の下部工(ケーソン工)、猪谷橋の上部工(アーチ橋)の施工現場を見学することができる。					
6	国道359号砺波東バイパス事業の工事	道路	7～11月	砺波市徳万～頼成地先	本線高架橋区間であるいかるぎの大橋上部工事の施工現場を見学することができる。					
7	国道359号砺波東バイパス事業の工事	道路	8～9月	砺波市芹谷地先	本線盛土区間のICT土工の施工現場を見学することができる。					
8	国道8号小矢部地区交通安全対策事業の工事	道路	10～翌3月	小矢部市芹川地先	小矢部川を渡河する新設の茅綱橋(ひぐらしばし)下部工事(橋脚工)及び上部工事の施工現場を見学することができる。					
9	常願寺川(右岸)急流河川対策工(低水護岸工事)	河川	11～翌2月	立山町利田	急流河川常願寺川において、堤防を洪水から守るため、河岸の侵食・洗掘を防ぐために必要となる河岸防護工としての低水護岸工事(施工延長約40m)を見学することができる。急流河川対策工法(練石張護岸)、バックホウによる掘削、根固ブロックの大きさ、クレーンによる根固ブロック及び根固水制の設置などを確認することができる。					
10	神通川(左岸)急流河川対策工(低水護岸工事)	河川	10～翌2月	富山市婦中町鵜坂	急流河川神通川において、堤防を洪水から守るため、河岸の侵食・洗掘を防ぐために必要となる河岸防護工としての低水護岸工事(施工延長約40m)を見学することができる。鋼矢板式護岸工法、バックホウによる掘削、クレーンによる鋼矢板の打込み、練石張護岸、根固ブロックの設置、仮締切工の状況などを確認することができる。					
11	神通川(左岸)急流河川対策工(高水護岸工事)	河川	10～翌2月	富山市青島	急流河川神通川において、堤防を洪水から守るために設置する高水護岸としての練石張を施工する工事(施工延長約160m)を見学することができる。急流河川対策工法(練石張護岸)、バックホウによる掘削、築堤施工の状況などを確認することができる。	富山河川国道事務所		076-443-4701		
12	井田川(右岸)急流河川対策工(災害復旧工事)	河川	11～翌2月	富山市八尾町井田	平成29年10月の台風21号出水で被災した護岸を復旧するための堤防護岸災害復旧工事(施工延長35m)を見学することができる。急流河川対策工法(練石張護岸)、バックホウによる掘削、根固ブロックの大きさ、クレーンによる根固ブロック設置、仮締切工などを確認することができる。					
13	庄川(左岸)急流河川対策工(低水護岸工事)	河川	11～翌2月	高岡市上伏間江	急流河川庄川において、堤防を洪水から守るため、河岸の侵食・洗掘を防ぐために必要となる河岸防護工としての低水護岸工事(2工区、施工延長約150m)を見学することができる。急流河川対策工法(練石張護岸)、バックホウによる掘削、根固ブロックの大きさ、クレーンによる根固ブロック及び根固水制の設置、仮締切工の状況などを確認することができる。					
14	庄川(左岸)急流河川対策工(災害復旧工事)	河川	11～翌2月	砺波市柳瀬	平成29年10月の台風21号出水で被災した護岸を復旧するための低水護岸災害復旧工事(2工区、施工延長100m)を見学することができる。急流河川対策工法(練石張護岸)、バックホウによる掘削、根固ブロックの大きさ、クレーンによる根固ブロック及び根固水制の設置、仮締切工の状況などを確認することができる。					
15	小矢部川(右岸)浸透対策	河川	10～翌2月	高岡市長慶寺	急流河川小矢部川において、堤防を洪水から守るため、堤防への流水等の浸透を防ぐために実施する高水護岸工事(施工延長約80m)を見学することができる。クレーンによる鋼矢板打込み、遮水シートの設置、大型コンクリートブロック張、バックホウによる掘削などを確認することができる。	利賀ダム工事事務所	調査設計課	藤本 昌利	0763-33-4701	fujimoto-m2ry@mlit.go.jp
16	小矢部川(右岸)合流点処理	河川	10～翌2月	小矢部市東福町	小矢部川と支川(横江宮川)が合流する箇所において、合流点処理としての低水護岸工事(施工延長約70m)を見学することができる。クレーンによる鋼矢板締切工の設置、バックホウによる掘削、大型コンクリートブロック張、根固ブロックの設置状況などを確認することができる。					
17	利賀ダム建設のための橋梁(鋼アーチ橋・鋼トラス橋)工事	ダム	6～11月	南砺市利賀村 栃原地先	利賀ダム建設のための工事用道路として施工した利賀大橋(鋼上路式アーチ橋)やウシクルビ谷橋(上路式鋼トラス橋)の工事現場を見学することができる。	利賀ダム工事事務所	調査設計課	藤本 昌利	0763-33-4701	fujimoto-m2ry@mlit.go.jp
18	利賀ダム建設に向けた工事	ダム	6～11月	南砺市利賀村 草嶺地先	利賀ダム建設予定地において、ダム建設に向けた工事用道路やダム建設準備工事などの現場を見学することができる。					
19	棧橋式岸壁の鋼管杭打設工	港湾	8～9月	射水市越の潟町地先	コンテナ取扱貨物量の増加やコンテナ船の大型化へ対応するため岸壁の延伸工事を実施しており、セメントジェット併用パイロハンマ工法による鋼管杭の打込みが見学できる。	伏木富山港湾事務所	前任建設管理官	間野 豊晴	076-441-1904	mano-t84j7@mlit.go.jp
20	地震強化岸壁整備のための浚渫工	港湾	9～10月	富山市東岩瀬町	老朽化対策による既存ストックの延命化及び緊急物資の受入れに資する耐震強化岸壁の整備工事を実施しており、グラブ船による浚渫(海底土砂の掘削)状況が見学できる。					

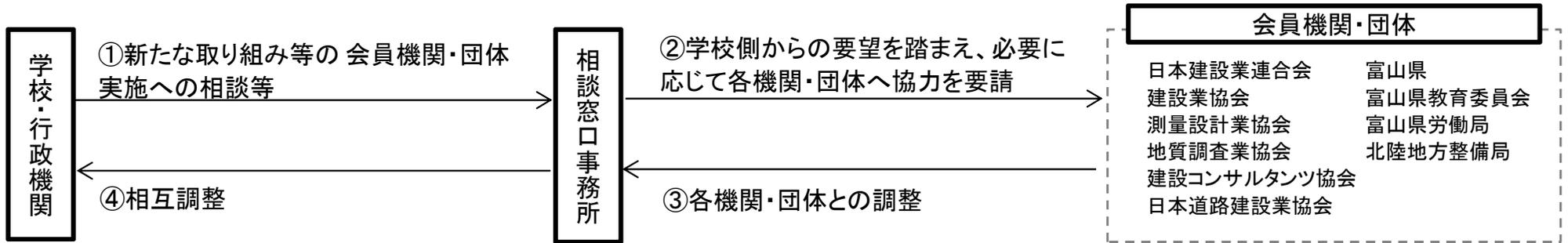
H30工事現場見学先  
候補 位置図(参考)



## 新規取り組み等に関する事務所相談窓口(H30.7現在)

組織名	担当事務所	役職	氏名	連絡先	メールアドレス	備考
富山大学	富山河川国道事務所	工事品質管理官	金川 亨	076-443-4701	kanagawa-t84kq@milit.go.jp	
富山県立大学						
高岡工芸高校						
富山工業高校	伏木富山港湾事務所	前任建設管理官	間野 豊晴	076-441-1904	mano-t84j7@milit.go.jp	
桜井高校	黒部河川事務所	調査課	岡嶋康子	0765-52-4686	okajima-y84n8@milit.go.jp	
南砺福野高校	利賀ダム工事事務所	副所長	岡田茂彦	0763-33-4701	okada-s84mk@milit.go.jp	
富山県	富山河川国道事務所	工事品質管理官	金川 亨	076-443-4701	kanagawa-t84kq@milit.go.jp	
富山県教育委員会						

## (参考)活用フロー



※本相談窓口は、担い手確保に関する取り組みについて、これまでに各校と各機関・団体の間で築かれている既存の調整体制に変えるものではありません。  
 今まで関係を持っていない機関・団体の協力が必要な場合や、複数の機関の協力が必要な取り組みなど、今後新たに実施を検討される場合の窓口として設置。

2018

7

July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 河川愛護月間 海岸愛護月間 海の月間	2	3	4	5 2017年：九州北部豪雨	6	7 1964年：山陰北陸豪雨（金沢市、津幡町） 川の日
8	9	10	11 2012年：九州北部豪雨	12 1993年：北海道南西沖地震	13 2004年：新潟・福島豪雨（新潟県、福島県）	14
15	16 2007年：中越沖地震 海の日	17	18 2006年：浸水害・山がけ崩れ害・土石流害	19 2009年：中国・九州北部豪雨	20	21 森と湖に親しむ旬
22	23	24 1958年：奥能登水害（能登北部）	25	26 2011年：新潟・福島豪雨	27	28 2008年：大雨による浅野川氾濫（金沢市）
29	30 2014年：豪雨による広島市の土砂災害	31				

■担い手カレンダーとは  
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関するものを記載しています。  
2.管内の主な災害を記載しています。  
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

7月のイベント						
	日	区分	対象	主催	開催場所	内容
上旬	4-6		高岡工芸高校 土木環境科・建築科2年生		富山県全域	勤労観・職業観や建設業に関する知識・技術を身につける。
	7月		富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科1年生	富山河川国道事務所	富山県全域	社会基盤工学概論の一環としての現場見学
中旬	13		富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科1年生	富山河川国道事務所	射水市	社会基盤工学概論における所長の講義
	18		一般県民	富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	富山駅前CiCビル5階 富山駅前サテライトキャンパス(仮称) 研修室	富山大学公開講座(全5回, 6300円) これからの持続可能な都市のデザイン(その3) ～インフラ・防災～
下旬	25		一般県民	富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	富山駅前CiCビル5階 富山駅前サテライトキャンパス(仮称) 研修室	富山大学公開講座(全5回, 6300円) これからの持続可能な都市のデザイン(その3) ～インフラ・防災～
通年及び期間のイベント・取り組み						

現場見学 一般見学 講演・講習 出前講座 インターンシップ 他 その他

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。なお、対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」としています。  
問い合わせ先：北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会石川県部会事務局(北陸地方整備局金沢河川国道事務所品質確保課内) TEL 076(264)8579、内線302

2018

8

August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		3	1 水の日 水の週間(8/1~7) 道路ふれあい月間	2	3	4 1998年:8.4水害(新潟市) 橋の日
5 1961年:中越水害(長岡)	6	7	8	12 1993年:北海道西沖地震	10 道の日	11
12	13	14	18 2006年:浸水害・山がけ崩れ害・土石流害	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30 防災週間(8/30~9/5)	31	

■担い手カレンダーとは  
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関するものを記載しています。  
2.管内の主な災害を記載しています。  
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

8月のイベント						
	日	区分	対象	主催	開催場所	内容
上旬	1	出前	一般県民	富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	富山駅前CiCビル5階 富山駅前サテライトキャンパス(仮称) 研修室	富山大学公開講座(全5回, 6300円) これからの持続可能な都市のデザイン(その3) ~インフラ・防災~
	8					
中旬						
下旬	22	出前	一般県民	富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	富山駅前CiCビル5階 富山駅前サテライトキャンパス(仮称) 研修室	富山大学公開講座(全5回, 6300円) これからの持続可能な都市のデザイン(その3) ~インフラ・防災~
通年及び期間のイベント・取り組み						

現場見学
 一般見学
 講演・講習
 出前講座
 インターンシップ
 他 その他

●能登地域:七尾市・輪島市・珠洲市・羽咋市・志賀町・宝達志水町・中能登町・穴水町・能登町

●加賀地域:金沢市・小松市・加賀市・かほく市・白山市・能美市・野々市市・川北町・津幡町・内灘町

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。なお、対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」としています。

問い合わせ先:北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会石川県部会事務局(北陸地方整備局金沢河川国道事務所品質確保課内) TEL 076(264)8579、内線302

2018

9

September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1 <small>防災の日 防災週間(8/30~9/5)</small>
2	3	4	5	6	7	8
9	10 <small>下水道の日</small>	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

■担い手カレンダーとは  
建設界の担い手確保に向けたイベントをまとめたカレンダーです。

(注)1.〇〇月間、〇〇の日等、土木建設に関するものを記載しています。  
2.管内の主な災害を記載しています。  
3.県内の主要なイベント(供用開始など)を記載しています。

9月のイベント						
	日	区分	対象	主催	開催場所	内容
上旬	4		富山市立太田小学校	富山県地質調査業協会	立山町	小学生を立山カルデラとカルデラ砂防博物館での体験学習により、防災事業の教育の向上を図る。
	8		一般県民	富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	富山駅前CiCビル5階 富山駅前サテライトキャンパス(仮称)研修室	富山大学サテライト講座 (受講無料)
中旬						
下旬	21		高岡工芸高校 土木環境科2年生	富山県建設業協会	富山県全域	県内の建設現場を見学し、体験実習を行う。
	28		富山工業高校 土木科2年	富山県建設業協会	富山県全域	県内の建設現場を見学し、体験実習を行う。
通年及び期間のイベント・取り組み						

現場見学 一般見学 講演・講習 出前講座 インターンシップ その他

●能登地域：七尾市・輪島市・珠洲市・羽咋市・志賀町・宝達志水町・中能登町・穴水町・能登町

●加賀地域：金沢市・小松市・加賀市・かほく市・白山市・能美市・野々市市・川北町・津幡町・内灘町

注)上記の予定は今後、変更等がある場合があります。なお、対象者が決まっているものを「現場見学」、一般の方を対象とするものを「一般見学」としています。

問い合わせ先：北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会石川県部会事務局(北陸地方整備局金沢河川国道事務所品質確保課内) TEL 076(264)8579、内線302

平成30年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて（活動予定）

【提出様式】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨	
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名	
1	講演・講習 (合同社員研修会)	建設関連企業	協会員企業の新入社員等	H30	4月9日～ 4月10日	富山市	111	(一社)富山県建設業協会		協会会員企業と富山電業協会の25歳未満の新入社員らを対象に、社会人としてのマナーや心構えを学び、かつ仕事への意欲向上や同世代間の交流	(一社)富山電業協会
2	講演・講習	大学、一般県民	大学、一般県民	H30	4/13～7/27の 金曜 13:15～14:45	グラนด์プラザ	50	富山大学 都市デザイン 学部 都市・交通デザイン 学科	富山大学 都市デザイン 学部 都市・交通デザイン 学科	学部1年生対象の講義「都市と交通を支える建設技術の基礎知識」を一般県民に開放。6/1、6/23-7/26を除く。	
3	出前講座	一般県民	一般県民	H30	5/9～6/6の 水曜(18:00 ～19:30)	富山駅前CiC ビル3階 学習 室	20	富山大学 都市デザイン 学部 都市・交通デザイン 学科	富山大学 社会貢献課 076-445-6956	富山大学公開講座(全5回、6300円) これからの持続可能な都市のデザイン(その1) ～デザイン・環境・情報～	
4	現場見学	建設系の高校	高岡工芸高校土木環境科3年生	H30	未定(5月頃)	富山県全域	28名	国土交通省 富山河川国道事務所		県内の建設現場を見学し、体験実習を行う。	
5	現場見学	建設系の高校	桜井高校	H30	6月1日	富山県全域	40	(一社)富山県建設業協会		県内の河川や道路など建設現場をととして建設業の魅力を紹介	富山県
6	出前講座	小学校	城端小学校6年生	H30	6月5日	南砺市城端	70名	(一社)富山県測量設計業 協会	(一社)富山県測量設計業 協会 事務局長 富程	北陸地方測量部による「地図教室」(座学) 富山県測量設計業協会による測量実験体験:①水準測量、②トータル ステーション、③簡易計測機による高さの計測、④歩測 ⑤GPSで身長を図る、⑥ドローン飛行実演	国土理院北陸地方測量課
7	出前講座	一般県民	一般県民	H30	6/13～7/11 の水曜(18:00 ～19:30)	富山駅前CiC ビル5階 富 山駅前サテラ イトキャンパス	20	富山大学 都市デザイン 学部 都市・交通デザイン 学科	富山大学 社会貢献課 076-445-6956	富山大学公開講座(全5回、6300円) これからの持続可能な都市のデザイン(その2) ～都市・交通・コミュニティ～	
8	出前講座	建設系の高校	富山工業高校	H30	6/20(水)	富山市	80	富山大学 都市デザイン 学部 都市・交通デザイン 学科	富山大学 理工系事務部 理工系総務課	H30年4月に新設された富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイ ン学科の教員が、建設や都市計画等について講義を行う。	
9	講演・WS	射水市中太閤山地区町民	射水市中太閤山地区町民 (14町会3000人)	H30	6月の土日の うちの1日	射水市中太閤 山地区	60?	富山大学 都市デザイン 学部 都市・交通デザイン 学科	富山大学都市デザイン学 部都市・交通デザイン学 科、原の研究室	H30年4月に新設された富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイ ン学科の教員(原)が、防災意識の向上と地域防災組織の重要性につ いて講演するとともに、今後の防災訓練についてのWSをリードする	中太閤山地区まちづくり地 域振興会
10	インターンシップ	建設系の高校	高岡工芸高校 土木環境科・建築科2年生	H30	7月4～6日	富山県全域	68名			勤労観・職業観や建設業に関する知識・技術を身につける。	
11	出前講座	一般県民	一般県民	H30	7/18～8/22 の水曜(18:00 ～19:30)	富山駅前CiC ビル5階 富 山駅前サテラ イトキャンパス	20	富山大学 都市デザイン 学部 都市・交通デザイン 学科	富山大学 社会貢献課 076-445-6956	富山大学公開講座(全5回、6300円) これからの持続可能な都市のデザイン(その3) ～インフラ・防災～	
12	講演・講習	大学	富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科1年生	H30	7月	射水市	60	富山河川国道事務所	富山県立大学	社会基盤工学概論における所長の講義	
13	現場見学	大学	富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科1年生	H30	7月	富山県全域	60	富山河川国道事務所	富山県立大学	社会基盤工学概論の一環としての現場見学	
14	現場見学	小学校	富山市立太田小学校	H30	9月4日	立山町	約35名	富山県地質調査業協会	事務局	小学生を立山カルデラとカルデラ砂防博物館での体験学習により、防 災事業の教育の向上を図る。	立山砂防事務所
15	講演・講習	一般県民	一般県民	H30	9/8 14:00-15:30	富山駅前CiC ビル5階 富 山駅前サテラ イトキャンパス	80	富山大学 都市デザイン 学部 都市・交通デザイン 学科	富山大学地域連携推進機 構生涯学習部門 076-445-6956	富山大学サテライト講座(受講無料)	

平成30年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて（活動予定）

【提出様式】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨	
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名	
16	現場見学	建設系の高校	高岡工芸高校土木環境科2年生	H30	未定(9月頃)	富山県全域	28名	富山県建設業協会		県内の建設現場を見学し、体験実習を行う。	
17	出前講座	建設系の高校	高岡工芸高校土木環境科・建築科1年生	H30	未定(10月頃)	高岡工芸高校	80名	富山県土木部		建設業の現況や施策、建設技術者の仕事を学ぶ。	
18	インターンシップ	大学	富山県立大学	H30	未定(10月頃)	未定	2名	富山県地質調査業協会	事務局	協会会員と一緒に国内の災害現場を調査し、災害対応の重要性を学んでもらう。	国土交通省
19	出前講座	建設系の高校	高岡工芸高校土木環境科2年生	H30	未定 (11月～2月)	高岡工芸高校	28名	富山県左官事業協同組合		左官工事の知識と左官作業の技術を学ぶ。	
20	出前講座	建設系の高校	高岡工芸高校 土木環境科2年生	H30	未定 (11月～2月)	高岡工芸高校	28名	日本型枠工事業協会		型枠工事の知識と鉄筋コンクリート型枠の組立技術を学ぶ。	
21	講演・講習	小学校、大学	富山市立太田小学校、富山県	H30	未定(来年2月頃)	富山市	約35名 1名	富山県地質調査業協会	事務局	学習の成果を講演会で体験学習と現場研修の成果を発表してもらう。	立山砂防事務所
22	出前講座	建設系の高校	高岡工芸高校土木環境科2年生	H30	未定	高岡工芸高校	28名	富山県測量設計業協会		設計コンサルタント業の知識と測量の専門技術を学ぶ。	
23	現場見学	建設系の高校	高岡工芸高校土木環境科2年生	H30	未定	富山県全域	28名	富山県農林水産部		林業現場を見学し、林内作業を体験する。	
24	インターンシップ	大学	インターンシップ申込み大学	H30	随時	富山県全域	未定	富山県地質調査業協会	事務局	会員各社で実務の学習を行う。	

# 平成29年度北陸建設界の担い手確保・育成協議会 主な議事

資料6

H30.2.1

事務局 取りまとめ

項目	発言内容	事務局回答 等
離職に関するデータ 収集・分析	【新潟工業高校】 ・離職者の学校種別があると議論し易い。データはないものか。 【新潟労働局】 ・そのような細かいデータ整理は難しい。	【座長(北陸地方整備局長)】 ・今後、事務局で検討してみたい。
	【新潟県土木部長】 ・現在も離職理由は前回協議会で紹介のあった「コミュニケーションが悪いが1位」のままなのか。	【座長(北陸地方整備局長)】 ・今後、事務局で検討してみたい。(労働局と相談しながら)
		【座長(北陸地方整備局長)】 ・離職対策についても各部会で議論頂ければありがたい。
就職状況データの収 集・分析	【富山大学】 ・建設系以外の学科、学部等からの就職状況に関するデータ収 集・分析を行い、建設系以外へのPRの有効性を確認すべき。	【座長(北陸地方整備局長)】 ・事務局で検討し、またこの協議会に提供できればと思う。(産業側ある いは役所側のほうでデータを調べるなど)
建設系学校以外の 小中高校・合同企業 説明会		【座長(北陸地方整備局長)】 ・今協議会の議題とした次の取り組み課題については、今後事務局お よび各部会で議論いただくことになる。  ・細々といっぱいやると纏まって一斉にやるのとどちらが良いのかみ たいな部分もある。協議会として纏まっているメリットが正にそういうこと ではないか。 「建設系学校以外の小中高校へ向けた取り組み」 「建設業界一体となった企業説明会の実施」
合同企業説明会		【北陸地方整備局企画部長】 ・就職のマッチングをするような取り組みを、各県部会でどのような形で できるかを是非議論頂きたい。
使いやすい資料等の 協議会・部会への情 報共有		【座長(北陸地方整備局長)】 ・石川県の教育委員会と土木部が連携して建設系以外の高校へアプ ローチしている取り組み等を、新潟県部会、富山県部会へも情報共有 するよう事務局にお願いしたい。  ・この業界の必要性、重要性などを説明する資料を使いやすい形で皆 さんに共有することを事務局で検討してほしい。



国土交通省では、3年目の今年度を「深化の年」として、「生産性革命」を加速させるため一層の普及推進を図っているところです。  
北陸地方整備局においても、ICT技術活用の拡大、コンクリート工の生産性向上、施工時期の平準化を推進し、建設現場のプロセス全体の最適化を図り、魅力ある建設現場の実現を目指していきます。

最新ニュース

5月22日(火)に「平成30年度第1回i-Construction推進本部会議」を開催し、今年度の実施方針を決定しました。

- 【ICT技術の活用】**
- ・ICT土工工事の施工者希望型の盛土工事において、8,000m<sup>3</sup>以上をI型に拡大。
  - ・ICT河川浚渫工事(バックホウ浚渫)、防波堤等のICT基礎工事、ICTブロック据付工事を新規対象。
  - ・北陸ICT戦略研究会(整備局、各事務所、自治体及び業団体)で分担・連携し、講習会の参加機会を拡大。
  - ・各施工プロセスに特化した専門的な講習会を今年度より開催し、ICT実践者のスキルアップを図る。
  - ・CIM活用工事に対応するための講習会、現場見学会を今年度より実施。
  - ・管内自治体と連携し、自治体主催のICT技術活用研修等への整備局職員の派遣を拡大。
  - ・「橋梁」、「トンネル」、「河川構造物」、「道路」の詳細設計を対象に、CIM活用業務、CIM活用工事を実施。



推進本部長(局長)

- 【規格の標準化】**
- ・予備設計段階からの比較案検討を継続実施。
  - ・プレキャスト製品選定フロー(案)検討を継続実施。
- 【施工時期の平準化】**
- ・債務負担行為(ゼロ国含む)や繰越制度の活用、早期発注により平準化を推進。
  - ・四半期毎の「平準化の見通し」について、地整全体、事務所単位、ブロック単位でとりまとめ、情報共有・見える化を図る。
  - ・国、自治体等の発注見通しの統合・公表地域の拡大。



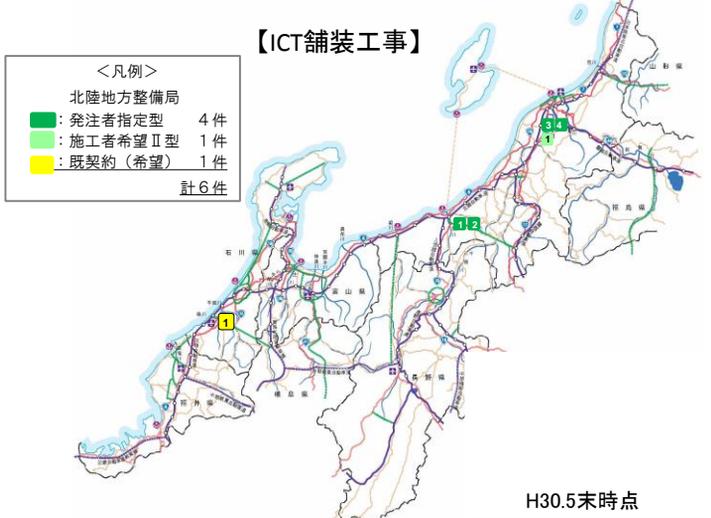
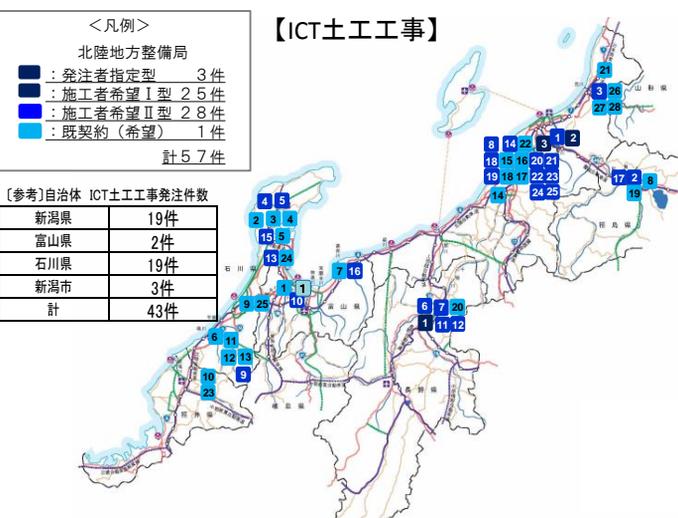
会議開催状況

本号の掲載内容

ICT技術の活用	平成29年度発注工事のICT活用状況、ICT活用工事講習会開催、積算基準の改定
規格の標準化	なし
施工時期の平準化	なし

平成29年度発注工事におけるICT技術活用状況

北陸地方整備局では、ICT土工工事 57件(内11件は完了)、ICT舗装工事 6件(うち1件完了)において実施中。自治体においても、43件のICT土工工事を発注。



## 平成30年度ICT活用講習会(入門者クラス)を開催

昨年度と同様、今年度も「入門者クラス」と「実践者クラス」のレベル毎に分け、参加者についても整備局と建設関連団体にに加え、地方自治体および測量・建設コンサルタント業界団体も参加可能とした。また、今回の講習会より各自治体の取組についてもプログラムに加え、さらに幅広い普及・拡大をめざし、石川、富山、新潟の3会場で開催し、延べ577名が受講した。

### 1. 開催場所及び日時

全体で577名の技術者が受講。

名称	会場	日時	受講者		合計
			内訳		
平成30年度 ICT活用講習会 (石川会場)	石川建設 総合センター	平成30年 5月15日(火) 13:30~16:30	民間	109名	124名
			自治体	8名	
			整備局	7名	
平成30年度 ICT活用講習会 (富山会場)	北陸地方整備局 北陸技術事務所 富山防災センター	平成30年 5月16日(水) 13:30~16:30	民間	109名	127名
			自治体	11名	
			整備局	7名	
平成30年度 ICT活用講習会 (新潟会場) 【午前の部】	北陸地方整備局	平成30年 5月23日(水) 9:00~12:00	民間	132名	165名
			自治体	10名	
			整備局	23名	
平成30年度 ICT活用講習会 (新潟会場) 【午後の部】	北陸地方整備局	平成30年 5月23日(水) 14:00~17:00	民間	122名	161名
			自治体	13名	
			整備局	26名	



石川会場



富山会場



新潟会場(午前)



新潟会場(午後)



実機を持ち込んでの説明

### 2. 講義内容

- ① ICT活用工事の概要
- ② ICT活用工事の流れ
- ③ UAV空中写真測量、TLS測量の概要
- ④ 自治体からのお知らせ

講師:北陸地方整備局 企画部

講師:(一社)日本建設機械施工協会 i-Construction普及WG

講師:(一社)全国測量設計業協会連合会北陸地区協議会

講師:石川県・富山県・新潟県・新潟市

### 3. 実施結果

全ての会場において募集人数を超える申し込みがあり、多数の技術者が受講。

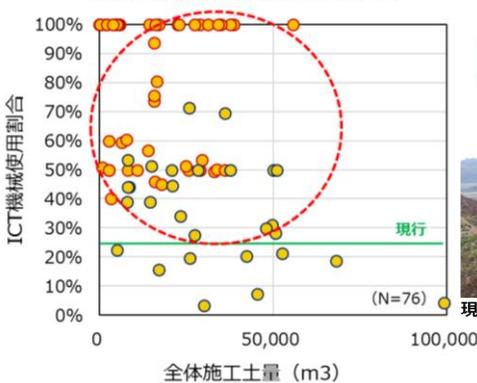
UAV、TLSについては実機を用いて説明。また、UAV作業中の事故を防ぐため、航空法などのルールについての説明も行った結果、アンケートでは「実機を親れてよかった」、「航空法について初めて知った」、「ICT工事の流れがわかりやすかった」との声が多かった。

## 積算基準の改定

・施工土量5万m<sup>3</sup>以下の工事では、ICT機械の使用割合が高い傾向にあり、現行の積算基準で設定している**ICT建機使用割合(25%)を超える工事が9割以上存在**

・施工状況等により使用割合が大きく変化していることから、ICT施工を普及拡大する観点も踏まえ、当面の措置として**積算基準、要領を改定し、ICT建機の稼働率を用いた施工数量による変更積算とする**

ICT建機使用割合(施工土量ベース)



現地状況等に応じて、ICTと従来型の建機を使用

(従来)

ICT歩掛 (ICT建機25%+通常建機75%) × 施工土量

※ICT建機利用率は一律

(改善)

ICT歩掛 (ICT建機100%) × 施工土量  $\alpha$

+

通常歩掛 (通常建機100%) × 施工土量  $\beta$

現場に応じてICT建機で施工する土量を設定

i-Construction推進本部 事務局

(問い合わせ先) 北陸地方整備局 地方事業評価管理官 (2118)

企画部 技術管理課長 (3311)

企画部 施工企画課長 (3451)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館 Tel025-280-8880(代)

平成30年6月1日  
大臣官房技術調査課  
大臣官房公共事業調査室

**i-Construction ロゴマークを決定しました！**

～先進的な建設現場が一目でわかりやすく～

国土交通省は、建設現場が「給与が良い・休暇がとれる・期待がもてる」、魅力ある現場に変わっていくために、自動制御可能な建設機械等の先進的な技術の導入などにより、建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」を推進しています。

この度、「i-Construction」が、建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取組へと「深化」するシンボルとして、ロゴマークを決定しました。

ロゴマーク



**デザインメッセージ：**

「革新的テクノロジーが、日本の建設現場を劇的に変えていく。  
その原動力が、日本を次のステージへと推し進めていく」

使用シーン



例：ウェブサイト、建設機械やUAV、ヘルメットや作業着、  
建設現場の看板や仮囲い、名刺、ポスター、チラシ、  
バッジ、キーホルダー、クリアファイル など

ロゴマークが建設機械や作業着などといった、建設現場を中心としたあらゆるシーンで活用されることで、i-Constructionによって若者や女性、高齢者も働きやすくなる新しい建設現場のイメージが社会に浸透していくことを期待！

- ロゴマーク選定過程等の詳細については別紙をご覧ください。
- ロゴマークのダウンロード先や使用マニュアルについては、別途国土交通省 HP 上に掲示いたします。

**問い合わせ先**

大臣官房 技術調査課  
建設生産性向上推進官  
課長補佐

TEL：03-5253-8111 横地（内線 22308）  
橋本（内線 22339）  
夜間直通：03-5253-8219 FAX：03-5253-1536